Lightning Experience 対応版

SkyVisualEditor インプリメンテーションワークブック

株式会社テラスカイ

2024年12月4日



目次

1.	はじめに	1
	本ワークブックの目的	1
	対象利用者	1
	本ワークブックで習得できるスキルセット	1
	本ワークブックにおける Salesforce 組織要件	1
2.	SkyVisualEditor の動作環境	2
3.	事前準備	3
	Developer Edition にサインアップする	3
	「私のドメイン」を設定する	3
	AppExchange パッケージをインストールする	3
	人材紹介アプリケーションをインストールする	4
	Windows 版 Studio にサインアップする	4
	Studio をインストールする	5
	Salesforce と Studio の接続	5
4.	顧客要件の把握と実装方法の選定	7
	顧客要件に基づく使用機能の選定	8
	Salesforce のオブジェクト構成に基づく画面レイアウトの選定	12
	SkyVisualEditor VF の特徴及び機能制限に基づくレイアウトの選定	15
	本ワークブックにおける実装方法のまとめ	17
5.	Salesforce レイアウトによる画面の実装	19
	Salesforce レイアウトの特徴	19
	入力項目の配置	21
	コンポーネントの配置	23
	コンポーネントプロパティの設定	23
	マージフィールドを使用した表示テキストの動的表示設定	25
	データテーブルの設定	26
	ページレイアウト取得	29
	パネルグリットによる整形	31
	入れ子にしたページブロックセクションよる整形	32
	計算式の設定	33
	参照画面作成	35
	LEX デザインの適用	38
	SkvVisualEditor VFの LEX デザインの特徴	39

	lightningStylesheets 属性との違い	41
	ボタンスタイルの適用	44
6.	自由レイアウトによる画面の実装	46
	自由レイアウトの特徴	46
	背景画像の設定	46
	PDF 化	49
	Lightning コンポーネントを出力	49
7.	検索テンプレートによる画面の実装	50
	検索テンプレートの特徴	50
	ウィザードでの設定	50
	ウィザード完了後の設定	55
	マスク設定	55
	絞込条件	55
	検索結果保持形式	56
	LEX デザインの適用	57
8.	Lightning コンポーネント連携を活用した検索機能の実装	58
	Lightning コンポーネント連携の特徴	58
	既存画面からの複製と編集	58
	人材参照画面の lightning コンポーネント化	58
	求人案件参照画面の lightning コンポーネント化	61
	求人案件検索画面の lightning コンポーネント化	65
9.	カスタムルックアップテンプレートによる画面の実装	68
	カスタムルックアップテンプレートの特徴	68
	ウィザードでの設定	68
	ウィザード完了後の設定	70
	LEX デザインの適用	70
	呼び出し元画面の設定1(単一レコード選択画面)	71
	呼び出し元画面の設定 2(複数レコード選択画面)	71
10.	. Dashboard レイアウトによる画面の実装	73
	Dashboard レイアウトの特徴	73
	コンポーネントの配置	73
	URL パラメータ設定によるデフォルト値の設定	78
11.	. デプロイ後に行う Salesforce の設定	80
	画面呼び出し設定(ボタン/リンクの上書き)	81
	画面呼び出し設定(Lightning アプリケーションビルダーの Visualforce コンポー	-ネント)
		82

画面呼び出し設定(Lightning アプリケーションビルダーのカスタムコンポーネント)	87
画面呼び出し設定(クイックアクション)	89
画面呼び出し設定(Visualforce タブ)	92
Visualforce ページ、Apex クラスへのアクセス有効化	93
12. より便利に利用いただくために	94
ルックアップ時に任意の項目値を取得する機能(ルックアップ設定)	94
ウィザード画面テンプレート	94
ページ割り当てテンプレート	94
親子登録テンプレート	95
AppComponent	95
13. 高度なカスタマイズ	98
JavaScript 機能	98
Apex クラス拡張機能	99
ユースケース	99
14. SkyVisualEditor のバージョンアップの仕組み	101
15. 大規模開発向け機能	102
複数組織への接続	102
デザインデータのバックアップ	102
グループユーザー	102
旧環境(前バージョン)の利用	103
16. Salesforce プラットフォームの理解	105
Apex コードカバー率	105
ガバナ制限	105
17. パフォーマンスチューニング	106
18. トラブルが発生した際の対処方法	107
19. Appendix	109
20. お問い合わせ先	110

1. はじめに

本ワークブックの目的

本ワークブックは SkyVisualEditor で画面開発を行う方のために、開発手法をチュートリアル形式で学習いただくことを目的としています。本ワークブックに沿って演習することで一連の SkyVisualEditor 画面開発手法を習得できます。

対象利用者

本ワークブックは以下に当てはまる方を対象として作成しています。

- Salesforce の認定 Administrator、認定 Platform アプリケーションビルダーと同等の知識を有する方
- · SkyVisualEditorの画面開発手法を基礎から学ばれる方
- · SkyVisualEditorで画面を作成して顧客または社内の利用ユーザーに提案する立場の方

本ワークブックで習得できるスキルセット

本ワークブックで習得できるスキルセットは以下の通りです。Salesforce の宣言的開発並びに Visualforce/Apex 開発に関するスキルは対象外です。

- · SkyVisualEditor VFの標準機能を使用した画面開発スキル
- ・ SkyVisualEditor VFの Apex クラス拡張機能及び JavaScript 機能の基本知識
- · SkyVisualEditor VFの AppComponent による開発に関する基本知識

本ワークブックにおける Salesforce 組織要件

本ワークブックは Lightning Experience 対応版です。演習を進めるためには学習用の Salesforce 組織が以下の要件を満たしている必要があります。なお、本ワークブックの学習に利用する Salesforce 組織は新規 Developer Edition 組織の利用を前提として、後の手順で準備方法を説明しています。

· 「私のドメイン」設定済み(演習で Lightning コンポーネントを使用します)

Classic 版の演習を行いたい場合は以下 URL より Classic 版のワークブックを取得してください。
http://www.terrasky.co.jp/document/docs/SkyVisualEditor_workbook.pdf#zoom=
100

2. SkyVisualEditor の動作環境

SkyVisualEditorの動作環境は以下の通りです。学習を始める前に、ご利用の環境が条件を満たしているか確認してください。なお、本ワークブックはデスクトップのみ動作保証をしています。モバイル/タブレット等でご利用いただいた場合の動作保証はしておりません。

SkyVisualEditor VF Studio

· Windows 版 Studio

インストールするには、Windows10 64bit 版の環境が必要です。

その他のシステム要件は、以下を参照ください。

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/whZY

ブラウザ

· デプロイ後の Salesforce 画面 (Visualforce)

Mozilla Firefox、Microsoft Internet Explorer、Google Chrome について、salesforce.com 社と同様のブラウザバージョンで動作します。

但し、一部機能においてはブラウザによって動作しないものがあります。

Google Chrome で動作しない機能

× IME モード (※注 Apple Safari でも動作しません)

Salesforce

Salesforce の各製品の Enterprise Edition 以上及び Developer Edition で動作します。より詳細な情報を確認する場合はヘルプを参照してください。

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/g5RX

対応言語

· Windows 版 Studio

日本語、英語

· デプロイ後の Salesforce 画面 (Visualforce)

日本語、英語、中国語(繁体中国語、簡体中国語)

- ※ 画面に表示される文言は全てトランスレーションワークベンチに対応しているため、各言語の 文言を設定すれば Salesforce が対応している言語への対応は全て可能です。
- ※ 設定文言は組織毎に変更することが可能です。

3. 事前準備

本ワークブックをご利用になる前に、必要なサインアップ及びインストールを行います。

- 1. Developer Edition にサインアップする
- 2. 「私のドメイン」を設定する
- 3. AppExchange パッケージをインストールする
- 4. 人材紹介アプリケーションをインストールする
- 5. SkyVisualEditor VF Studio にサインアップする

Developer Edition にサインアップする

本ワークブックでは、開発用の Developer Edition 組織(以降、「DE 組織」と表記)を使用します。

- DE 組織のサインアップページにアクセスします。
 https://developer.salesforce.com/signup
- 2. 各項目を入力し、フォームを送信します。
- 3. フォームに入力したメールアドレス宛にログインリンクが記載されたメールが届きます。リンクをクリックし、 パスワードを変更します。

「私のドメイン」を設定する

本ワークブックには、SkyVisualEditor VF で作成したカスタム Lightning コンポーネントを使用する演習が含まれます。Lightning コンポーネントを利用するための必須条件である「私のドメイン」設定を行います。

- 1. DE 組織にログインしていない場合、ログインします。
- 2. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「私のドメイン」と入力し、[私のドメイン] を選択します。
- 3. [私のドメイン] サブドメインで使用する名前を入力します。名前は 34 字以下で、文字、数字、ハイフンを使用できます。
- 4. [使用可能か調べる] をクリックします。名前がすでに使用されている場合、別の名前を選択します。
- 5. 「ドメインの登録]をクリックします。
- 6. サブドメイン名のテストの準備ができると、通知メールが送信されます。
- 7. 本来はここでユーザーにリリースする前にテストを実行しますが、今回の環境では割愛します。
- 8. [設定] から、[クイック検索] ボックスに「私のドメイン」と入力し、[私のドメイン] を選択します。 [ユーザーにリリース] をクリックして、[OK] をクリックします。

AppExchange パッケージをインストールする

SkyVisualEditor VF を利用してページを作成するには、ページをデプロイする組織に SkyVisualEditor VFの AppExchange パッケージをインストールしておく必要があります。このパッケー

ジは 30 日間に限り 2 ユーザーで利用できます。機能制限はありませんので、本ワークブックの学習にあたり支障はありません。

- 1. AppExchange の SkyVisualEditor VF インストールページにアクセスします。
 https://appexchangejp.salesforce.com/appxListingDetail?listingId=a0N300000
 03IVOBEA4
- 2. [今すぐ入手] をクリックします。
- 3. ポップアップが出るので、[ログイン] をクリックします。
- 4. AppExchange サイトにログインするアカウントのユーザー名/パスワード を入力し、[ログイン] をクリックします。 必ずしもパッケージをインストールする組織のユーザー名でロユーザーする必要はありませんが、 今回は先に取得した DE 組織のユーザー名でログインしてください。
- 5. インストール先の Salesforce アカウントを設定し、「本番環境にインストール」をクリックします。
- 6. 利用規約の同意にチェックを入れ、[確認してインストール] をクリックします。
- 7. ログインダイアログが表示されるので、先に取得した DE 組織のユーザー名でログインします。
- 8. 「すべてユーザーのインストール」を選択し、「インストール」をクリックします。

人材紹介アプリケーションをインストールする

取得した DE 組織に学習用のパッケージをインストールします。パッケージには本ワークブックを進めるにあたり必要なアプリケーション及びカスタムオブジェクトが含まれます。

- インストール用 URL リンクを開きます。
 https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t5j00000
 0hN9H
- 2. DE 組織のユーザー名とパスワードを入力します。
 - ※学習用の Salesforce 組織のユーザー名とパスワードになっているか、ご確認ください。
- 3. 以下パッケージのパスワードを入力後、[すべてのユーザーのインストール] を選択し、 [インストール] をグリックします。

B4uIdc9q

Windows 版 Studio にサインアップする

SkyVisualEditor VFの画面をデザインする Windows 版 Studio (以降、「Studio」と表記)は、ユーザー登録することで無償利用できます。

- Studio サインアップページにアクセスします。
 https://www.skyvisualeditor.com/se2/sign_up/index
- 2. 各項目を入力し、フォームを送信します。
- 3. フォームに入力したメールアドレス宛にログインリンク・ユーザー・仮パスワードが記載されたメールが届きます。 リンクをクリックし、パスワードを変更します。

Studio をインストールする

Studio を利用するには、ご使用の端末に Studio をインストール必要があります。インストーラーは、サインアップ後のログイン画面からダウンロードできます。ダウンロード後、インストーラーを実行して下記手順でインストールを行ってください。

- 1. Studio のインストーラーをダブルクリックします。
- 2. [インストールモードを選択してください] ダイアログが表示されます。[現在のユーザー用にインストール]をクリックします。
- 3. [セットアップに使用する言語の選択]ダイアログが表示されます。[日本語]を選択して[OK]をクリックします。
- 4. セットアップウィザードが表示されます。「次へ」をクリックします。
- 5. インストール先の指定を行います。デフォルトのインストール先が設定されていますので、変更する場合は「参照」からインストール先のフォルダを選んでください。選択後、「次へ」をクリックします。
- 6. 追加タスクの選択が表示されます。デスクトップに Studio を起動するアイコンを配置する場合は、 「デスクトップ上にアイコンを作成する]にチェックを入れます。 [次へ]をクリックします。
- 7. インストール準備完了の画面が表示され、内容に問題がなければ「インストール」をクリックします。
- 8. セットアップウィザードの完了の画面が表示されます。[完了]をクリックしてウィザードを終了します。

Salesforce と Studio の接続

SkyVisualEditor は Studio から Salesforce に接続し、オブジェクトや項目等のメタデータを取得することで画面をデザインします。また、デザイン後には同じ接続を使用して Salesforce に Visualforce ページと Apex クラスをデプロイします。以下に相関図を示します。

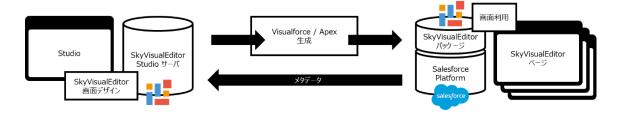


図 1: Salesforce、AppExchange パッケージと Studio の相関図

Studioから Salesforce に接続するためには、事前にセキュリティの設定を行う必要があります。

- A) セキュリティトークンを使用する
- B) IP アドレスを許可する
- C) ネットワークアクセスを設定する(IP アドレスの制限がない組織のみ有効)

本ワークブックでは C の設定を行い、Studio サーバのグローバル IP アドレスからの接続を許可します。

1. Salesforce の設定画面を開きます。

- 2. [クイック検索] に "ネットワークアクセス" と入力します。
- 3. 管理 > セキュリティのコントロール の "ネットワークアクセス" をクリックします。
- 4. 信頼済み IP 範囲の [新規] をクリックします。
- 5. 開始 IP アドレス欄と終了 IP アドレス欄に、"176.34.50.109" と入力して保存します。
- 再度 [新規] をクリックし、もう 1 つの IP アドレスを入力します。
 開始 IP アドレス欄と終了 IP アドレス欄に、"107.21.209.75" と入力して保存します。

A 及び B の設定についてはヘルプを参照してください。

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/fIle

4. 顧客要件の把握と実装方法の選定

SkyVisualEditor VFはSalesforceの画面開発(Visualforce,Apex クラス等)をGUIで行うツールです。従って、事前に運用状況やオペレーションフローを考慮した上で顧客要件を明確にし、Salesforce もしくは SkyVisualEditor VFの標準機能で実現可能な部分と個別開発(Visualforce, Apex クラス等のコーディング開発もしくは SkyVisualEditor VFの拡張機能開発)が必要な部分の切り分けを行う必要があります。顧客要望の優先度や開発コストによってトレードオフとなる場合もありますので、このプロセスは大変重要です。

この章では、仮想の顧客要件に基づく実装方法の選定について学びます。

架空の人材紹介会社「TS スタッフィング株式会社」にて

運用状況:

- ・ 既に Salesforce で「人材紹介アプリケーション」を運用中。
- ・ 求人情報、人材情報、紹介情報をそれぞれカスタムオブジェクトで構築している。
- · Lightning Experience を使用している。

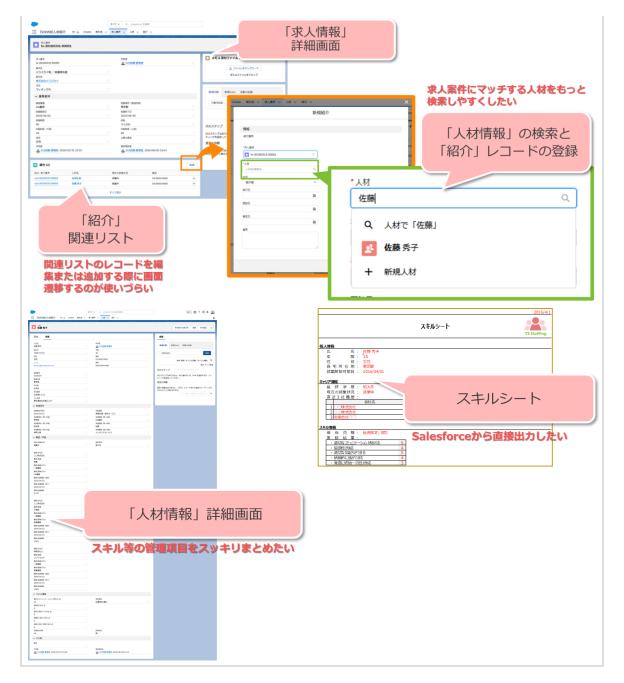
オペレーションフロー:

· 求人情報詳細画面から紹介予定の人材情報レコードの紐付けを行い、紹介履歴を管理している。

顧客の課題:

- ・ Salesforce 標準レイアウトを使用しているが、関連リストのレコードを編集または追加する際に画面 遷移するのが使いづらいという悩みを抱えている
- 求人案件にマッチする人材をもっと検索しやすくならないかと営業からクレームが来ている
- ・ 人材情報にはスキル等の管理項目が多く、Salesforce標準レイアウトでは管理しづらく感じている
- ・ 取引先(求人元)に人材のスキルシートを提示しているが、毎回 Salesforce の内容を Excel に コピーして作成しているため、負担が大きくミスも発生しやすい。 Salesforce から帳票を直接出力し たい。





顧客要件に基づく使用機能の選定

TS スタッフィング株式会社の要件を整理すると、以下のようになります。

- 親子情報を一括で登録・編集し、作業効率を上げたい。
- 求人案件にマッチする人材を迅速に検索したい。
- 管理項目が多いオブジェクトの画面をコンパクトにまとめ、視認性を高めたい。
- Salesforce から帳票を直接出力することで、Excel との二重入力を廃止したい。

さらに、要件定義を進めると以下のような課題も表面化するかもしれません。これらの事項は多くの顧客に当てはまる場合があり、Salesforce/SkyVisualEditor/コーディング開発いずれかの方法での解決手段が用意されているものです。

- ・ リッチな画面を使いたいが、デザインは Salesforce 標準レイアウトを踏襲したい。
- マスタオブジェクトを参照するレコードをより素早く登録したい。
- ユーザーごとにレイアウトを分岐したい。
- ・ マニュアルを見なくてもスムーズに操作できるよう、Salesforce 上に手順を載せたい。
- 特定のオブジェクトに対して検索条件を動的に変えながら検索したい。
- 画像を表示したい。
- ・ 選択リスト項目に選択肢以外の値を入力したい。
- ・ Web からの問い合わせ情報を Salesforce に取り込みたい。
- 重要項目の文字を大きくしたり色付けしたりして目立たせたい。
- · 電子サインを付けたい。
- ・ 特定のオブジェクトのレコードが作成されたら、Chatter に投稿したい。
- · Salesforce モバイルアプリケーション用の画面をカスタマイズしたい。
- · PDF 化した帳票をレコードに添付したい。

これらの要件とソリューションを以下の表にまとめます。

	要件	ソリューション		
		宣言的開発	コーディング開発	
0	親子情報を一括で登	SkyVisualEditor VFで親子登録画面を作	Lightning コンポー	
	録・編集し、作業効	成する。	ネント/	
	率を上げたい。		Visualforce/	
0	求人案件にマッチする	SkyVisualEditor VFの「検索テンプレート」	Apex クラス/	
	人材を迅速に検索し	または「カスタムルックアップテンプレート」を利用	JavaScript 等で	
	たい。	する。	UI を開発する。	
0	管理項目が多いオブ	SkyVisualEditor VF でパネルグリッド・タブを		
	ジェクトの画面をコンパ	活用した画面を作成する。		
	クトにまとめ、視認性を			
	高めたい。			

	=
_	

	要件	ソリューション	
		宣言的開発	コーディング開発
©	Salesforce から帳票 を直接出力すること で、Excel との二重入 力を廃止したい。	画面をそのまま出力する場合: SkyVisualEditor VFで帳票画面を作成し、ブラウザの印刷機能で出力する。もしくは、 SkyVisualEditor VFのPDF化機能を、制限を理解した上で利用する。 より高度な帳票を出力する場合: 帳票サービス(SVF、OPROARTS等)やデ	Lightning コンポーネント/ Visualforce/ Apex クラス/ JavaScript 等で UI を開発する。
		ータ連携サービス(DataSpider Cloud 等)を利用する。	
•	リッチな画面を使いた いが、デザインは Salesforce 標準レイ アウトを踏襲したい。	SkyVisualEditor VFの「 <u>Salesforce レイ</u> <u>アウト</u> 」を利用する。	
•	マスタオブジェクトを参 照するレコードをより素 早く登録したい。	SkyVisualEditor VFの「 <u>カスタムルックアップ</u> <u>テンプレート</u> 」と「マスター取得」機能を利用す る。	
	ユーザーごとにレイアウ トを分岐したい。	Salesforce の Lightning アプリケーションビルダーでページを作成してプロファイル別にページを割り当てる。 ※SkyVisualEditor VFの「ページ割り当てテンプレート」は Lightning Experience での利用不可	
•	マニュアルを見なくても スムーズに操作できる よう、Salesforce 上 に手順を載せたい。	SkyVisualEditor VFの「 <u>Dashboard レイ</u> <u>アウト</u> 」を利用する。	
•	検索条件を動的に設定しながら検索し、検索結果を直接編集したい。	SkyVisualEditor VFの「 <u>検索テンプレート</u> 」 を利用する。	
•	求人案件を検索し、 求人案件と人材の詳 細を1画面でスムー ズに表示したい。	SkyVisualEditor VFの「検索テンプレート」を利用する。 「Lightning コンポーネント連携」も利用し、 紹介人材とスキルの情報も表示する。	

要件	ソリューション		
	宣言的開発	コーディング開発	
画像を表示したい。	ページに静的な画像を表示する場合: ・ 「ファイル」や「ドキュメント」と数式項目を組み合わせて画像を表示する。 ・ SkyVisualEditor VFの「画像」コンポーネントもしくは「背景画像」機能を利用する(「背景画像」は自由レイアウトのみ利用可能)。 レコード毎に画像を動的表示する場合: ・ 「メモ&添付」や「ファイル」、「ドキュメント」と数式項目を組み合わせて画像を表示する。 リッチテキスト項目に画像を貼付する。	Lightning コンポー ネント/ Visualforce/ Apex クラス/ JavaScript 等で UI を開発する。	
選択リスト項目に選択 肢以外の値を入力し たい。 Web からの問い合わ せ情報を Salesforce に取り込みたい。	 SkyVisualEditor VF 標準 AppComponent の「編集可能な選択 リスト」を利用する。 SkyVisualEditor VF の「ウィザード画面テンプレート」を利用する。 		
重要項目の文字を目立たせたい。 電子サインを付けたい。 特定のオブジェクトのレ	SkyVisualEditor VF に配置した項目のプロパティで設定する。 SkyVisualEditor VF の「手書きサイン」を利用する。		
特定のオプシェクトのレ コードが作成されたら、 Chatter に投稿した い。	Salesforce の「 <u>プロセスビルダー</u> 」を利用する。		
Salesforce モバイル アプリケーション用の画 面をカスタマイズした い。	SkyVisualEditor でモバイルアプリケーション に最適化した画面を作成し、Salesforce モ バイルアプリケーションに適用する。		

TS スタッフィング株式会社では、上記の内「◎」が予め顕在化していた顧客要件、「●」が要件定義中に課題として認識され、追加された要件となりました。これらの要件を満たす画面を実装するために、次項以降で画面レイアウトを決定し、SkyVisualEditor VF の宣言的開発で画面を作成します。

Salesforce のオブジェクト構成に基づく画面レイアウトの選定

SkyVisualEditor VFで画面を作成する際は、Dashboard レイアウト以外のレイアウト/テンプレートで必ず「**主オブジェクト**」を宣言します。主オブジェクトを中心に、SkyVisualEditor VF で 1 画面内に入力項目として配置可能なオブジェクトをシンプルにまとめた図を以下に示します。

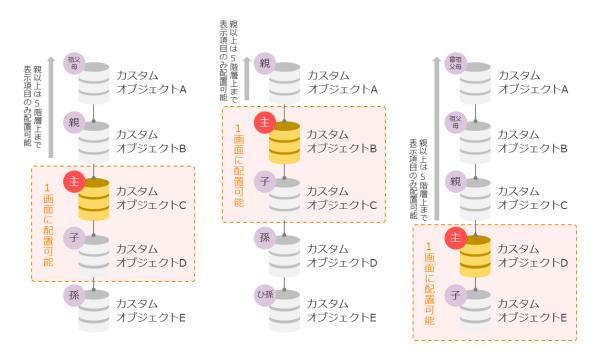


図 2 :1 画面内に入力項目として配置可能なオブジェクト

上図では、どのオブジェクトを主オブジェクトにするかにより、配置可能な範囲がスライドしていることが確認できます。

では実際に、どのような形式で配置できるのかを具体的なデータモデルを例に解説します。



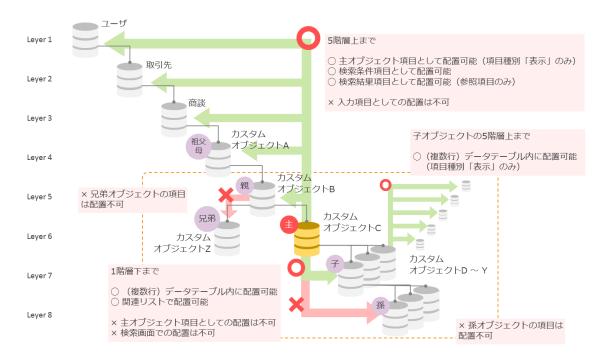


図 3:データモデルの具体例



主オブジェクトである「カスタムオブジェクト C」から 5 階層上までアクセスできますが、入力項目としては配 置できないため、注意が必要です。また、子オブジェクトもデータテーブル及び関連リストでの配置のみとな るため、詳細形式での画面レイアウトはできません。

兄弟オブジェクトまたは孫オブジェクトについては同一画面上に表示することができませんが、共通する子オ ブジェクトレコードを介して画面遷移することが可能です。以下に具体例を示します。



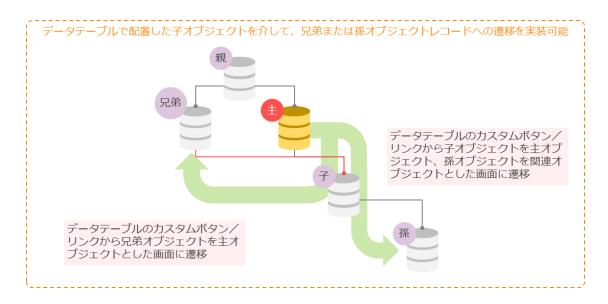


図 4 : 兄弟または孫オブジェクトへの遷移

このように、画面を作成する際にはどのオブジェクトの項目をどのようなレイアウトで編集/参照したいかに より主オブジェクトを確定させ、その結果どのような画面が構成可能であるかが自ずと決まります。

では、実際に TS スタッフィング株式会社の「人材紹介アプリケーション」のオブジェクト構成を確認し、主オ ブジェクトを確定します。

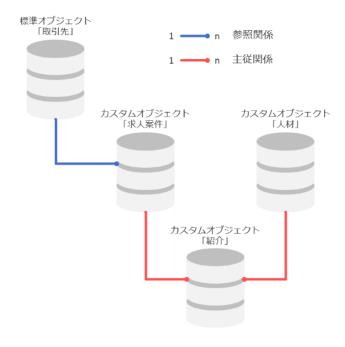


図 5 : TS スタッフィング株式会社の「人材紹介アプリケーション」オブジェクト構成

ここで「人材紹介アプリケーション」のオペレーションフローを思い出してください。

<u>求人情報詳細画面</u> (親) から紹介予定の<u>人材情報レコードの紐付け</u>を行い、<u>紹介履歴</u> (子) を管理している。

このオペレーションフローの中で、親子オブジェクトレコードを一括で登録・編集できる画面を作成する必要がありますので、主オブジェクトは「求人案件」とし、「紹介」オブジェクトはデータテーブルで配置します。

また、紹介レコードを登録する際にはもう一つの親である「人材」を紐付けることも重要なキーワードです。 データテーブルに配置したオブジェクト(A)に、別のオブジェクト(B)を親とするリレーション(主従/参 照関係)が設定されている場合、B をマスタオブジェクトとする「マスター取得」機能を利用して、紹介オ ブジェクトを一括で登録することが可能となります。例えば、B に山田さんと佐藤さんと高橋さんが人材マス タとして登録されており、とある求人案件に 3 名とも紹介したい場合、「マスター取得」ボタンをクリックし SkyVis マスターditor VF のカスタムルックアップ画面を起動させ、3 名にチェックを入れて「選択」ボタンを クリックすることで、3 名分の紹介レコードが一括登録できます。

具体的な設定方法は後の章で学びますが、まずここでは実装イメージを掴んでおいてください。

SkyVisualEditor VF の特徴及び機能制限に基づくレイアウトの選定

Studio には 8 つのレイアウトまたはテンプレートがあります。各レイアウトの特徴並びに機能制限を理解 し、顧客要件に最適なレイアウト/テンプレートを選択します。また、レイアウト/テンプレートは**一度選択 すると後から変更することができない**ので、注意が必要です。

種別	特徴	機能制限
Salesforce レイアウト	 Salesforce(Classic)の標準レイアウトに似たデザインで画面を作成できるレイアウト ページブロック、ページブロックセクションが利用可能 	・ 画面に配置した部品類(コンポーネント)はすべて左寄せで固定される・ 背景画像の利用不可
自由レイアウト	・ 背景画像を利用して、既存の帳票と同様のデザインで画面を作成できるレイアウト・ 部品類(コンポーネント)を任意の場所に配置可能	 ページブロック、ページブロックセクションの利用不可 LEX デザインの適用不可 ページブロックが利用できないため、データテーブルの出力形式はデータテーブルのみ

種別	特徴	機能制限
<u>検索テンプレ</u> <u>-ト</u>	 特定のオブジェクトに対する検索画面をウィザード形式で作成できるテンプレート 検索項目並びに検索結果項目(参照)として5階層上までのオブジェクトの項目を配置可能 検索結果を直接編集したり、画面遷移なく新規レコードを追加することが可能 	・ 検索対象は1オブジェクトのみ・ 検索結果のグルーピング不可
<u>ウィザード画面</u> <u>テンプレート</u>	 ウィザード形式の入力画面を作成できるテンプレート 複数ページに渡り入力項目を配置でき、入力内容を確認する確認ページの作成が可能 ウィザード内で利用できるレイアウトは Salesforce レイアウトもしくは自由レイアウト 	 行動結合テーブル、データテーブル、複数行データテーブル、「コピー」ボタン、「帳票出力」ボタン、「PDF」メニューの利用不可・連動関係の連動項目として設定されている複数選択リスト項目の利用不可・LEX デザインは Salesforce レイアウトのみ適用可
<u>Dashboard</u> <u>レイアウト</u>	 ・ 主オブジェクトを特定しない参照専用の部品類(コンポーネント)を配置可能なレイアウト ・ データテーブルや画像、AppComponent等を配置して作成するポータル画面に最適 ・ ページブロック、ページブロックセクションが利用可能 	・ 入力項目の利用不可 ・ LEX デザインの適用不可
カスタムルック アップテンプレ ート	主従/参照項目のルックアップ画面をウィザード形式で作成できるテンプレート動的に絞り込みが出来る検索条件を設定することが可能	検索条件項目に親オブジェクト項目の利用不可AppComponentの利用不可Salesforce 標準レイアウトでの利用不可

種別	特徴	機能制限
ページ割り当 てテンプレート	 ユーザーに表示される Visualforce ページを割り当てることのできるテンプレート レコードタイプ及びプロファイルごとに割り当ての設定が可能 割り当て設定には標準レイアウトとVisualforce ページを混在させることが可能 	 Lightning Experience 及び Salesforce モバイルアプリケーショ ンでの利用不可 AppComponent の利用不可
親子登録テンプレート	・ 親・子オブジェクト(主従関係)を 同時登録する画面をウィザード形 式で作成できるレイアウト	・ 背景画像の利用不可・ AppComponent の利用不可

本ワークブックにおける実装方法のまとめ

前項までで、顧客要件と Salesforce オブジェクト構成、SkyVisualEditor VF の機能制限について理 解し、実装方法の選定ができました。

実際に画面を作成する前に、実装方法を以下にまとめます。

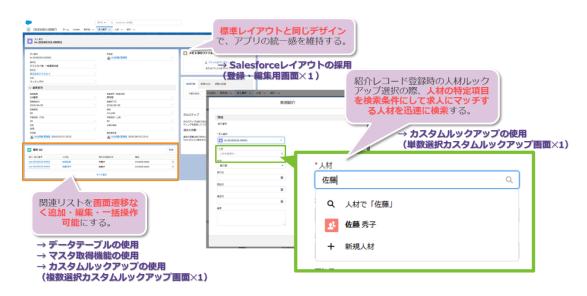


図 6 : 実装方法(求人情報画面)



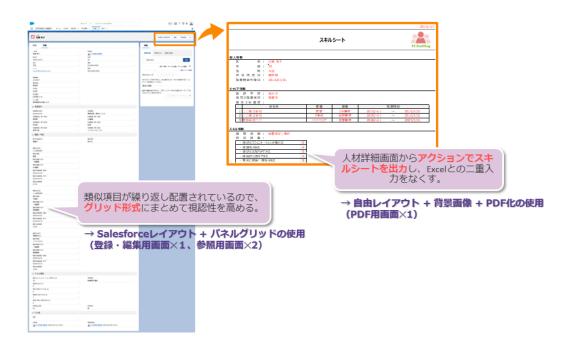


図 7 : 実装方法(人材情報画面)



図 8 : 実装方法(紹介情報検索画面)

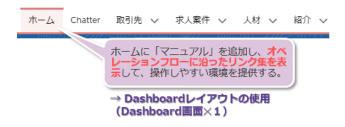


図 9 : 実装方法 (マニュアル画面)

これで TS スタッフィング株式会社の Salesforce 画面カスタマイズ実装方法が整理できました。次章以 降でこれらの画面を実際に作成しながら、SkyVisualEditor VF による画面開発手法を学びます。

5. Salesforce レイアウトによる画面の実装

所要時間: 120~180分

TS スタッフィング株式会社の人材紹介アプリケーションでは、リッチな画面を使いたいが、デザインは Salesforce 標準レイアウトを踏襲したいという要望がありました。この要望を満たすために、Salesforce レイアウトを使用して求人情報画面と人材情報画面を作成します。

Salesforce レイアウトの特徴

Salesforce レイアウトは、標準レイアウトと似たデザインで画面を作成するためのベースとなるレイアウトで、 LEX デザインを適用することで Lightning Experience 上でも違和感の無いデザインで表示されるため、 アプリケーション内の画面デザインの統一性を保つことができます。



図 10: LEX デザインを適用した SkyVisualEditor VF 画面をレコードページに配置

また、Salesforce レイアウトで「ページブロックセクション」コンポーネントを利用すると、「ページブロックセクションのレスポンシブ設定」が有効化できるようになります。なお、「ページブロックセクション」を利用する場合は「ページブロック」コンポーネントをセットで使用する必要があります(「ページブロックセクション」は「ページブロック」内にしか配置できません)。「ページブロック」及び「ページブロックセクション」は次章で学習する自由レイアウトでは利用できませんので、これらを利用する場合には必ず Salesforce レイアウトを選択してください。



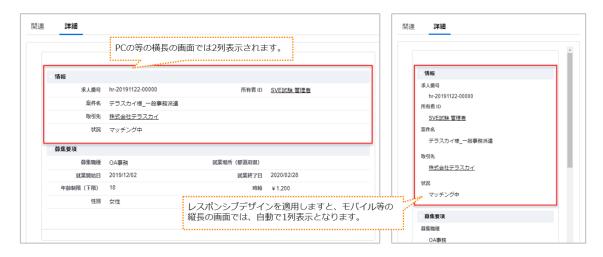


図 11:レスポンシブデザインを適用した画面(左:横長の画面の場合 右:縦長の画面の場合)

Salesforce レイアウトの特徴について理解ができたので、早速 SkyVisualEditor VF の様々な機能を 駆使しながら、求人情報画面と人材情報画面を作成していきましょう。まずは、求人情報画面を作成し ながら SkyVisualEditor VF の基本的な操作方法を学習します。

手順に従い作成いただくと、Studio 上では下図のような画面になります。



図 12 : 求人情報編集画面の Studio 上のイメージ

入力項目の配置

まずは、入力項目を並べた編集画面を作成します。

- Studio にログインします。
- 2. DE 組織にログインします。
- 3. ファイルメニューの [新規] を選択します。
- 4. レイアウトマネージャが起動しますので、Salesforce レイアウトを選択します。
- 5. オブジェクトで 「求人案件」を選択します。
- 6. Visualforce ページ名に "SVE_HREdit" と入力します。
- 7. [OK] をクリックします。

OK をクリックすると、予め「ページブロック」と「ページブロックセクション」が 1 セット配置された状態の画面デザインデータが開きます。

ここで、Studio の構成について簡単に説明します。

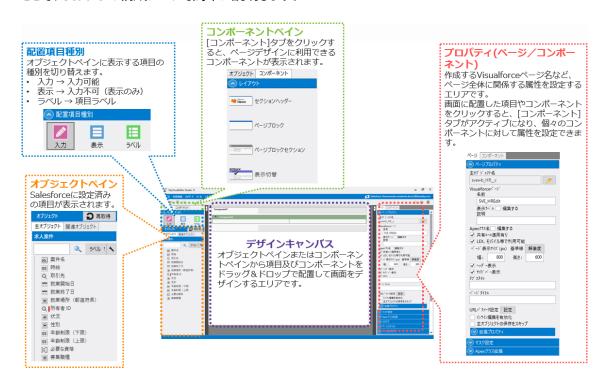


図 13: Studio の構成

個々の機能の詳細は画面作成手順の中で説明しますので、ここでは割愛します。なお、詳細は<u>ヘルプサ</u>イトでも確認できます。

引き続き入力項目を配置して画面をデザインしていきましょう。求人情報レコードを登録する際に必要な項目を入力項目として並べます。

- 1. 配置項目種別を [入力] に切り替え、オブジェクトペインに表示されている項目のうち、 [所有者 ID]を除く全ての項目をページブロックセクション内にドラッグ&ドロップして配置します。
- 2. ページブロックセクションは最大 30 列まで設定が可能です。今回は 3 列でレイアウトします。 キャンバスエリア内のページブロックセクションをクリックすると [列追加/列削除] のフローティングパレ ットが表示されます。 [列追加] をクリックして 3 列目を追加します。
- 3. 以下を参考にして項目をドラッグ&ドロップで並び替えます。

Component1						
▼ Component2						
	取引先	<u>•</u>	案件名		状况	▼
	募集職種	V	就業場所(都道府県)	V	性別	
	就業開始日	[9999/99/99]	就業終了日	[9999/99/99]	時給	
	年齢制限(上限)		年齡制限 (下限)		必要な資格	

1列目: 取引先、募集職種、就業開始日、年齢制限(上限)

2 列目: 案件名、就業場所(都道府県)、就業終了日、年齢制限(下限)

3列目: 状況、性別、時給、必要な資格

Tips:

オブジェクトペインの項目は Ctrl キーを押した後、押し続けながら選択することで複数選択し、一括でキャンバスエリア にドラッグ&ドロップすることができます。

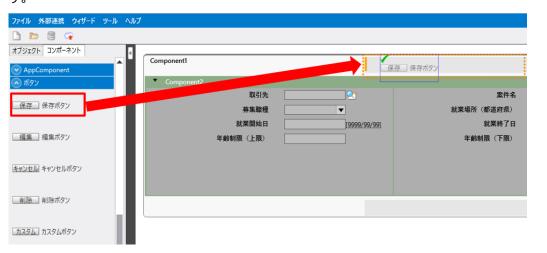
入力項目の配置が完了しました。

ここで先に進む前に、一旦画面デザインデータを保存します。Studio はクラウドサービスのため、ネットワー クトラブル等によりセッションが切断された場合、保存していない変更データは失われてしまいます。「ファイ ル] メニューの [保存] をクリックしてこまめに保存を行いましょう。なお、 [保存] は Studio サーバ内に デザインデータを保存するのみで、接続している Salesforce 組織へのデータ保存は行いません。

コンポーネントの配置

入力が完了した際に保存するためのボタンと、入力を取り消すキャンセルボタンを配置します。

- 1. コンポーネントタブをクリックしてコンポーネントペインをアクティブにします。
- 2. ボタンセクションの中から [保存] ボタンをページブロックのボタン表示領域にドラッグ & ドロップします。



3. 同様に、[キャンセル] ボタンも配置します。

Tips:

- ◆ コンポーネントペイン内でマウスオーバーすると、コンポーネント名がツールチップで表示されます。本ガイドブック中に記載されたコンポーネント名がわからない場合は、マウスオーバーして確認してください。
- ◆ ページブロックのプロパティ [ボタン表示領域] では、ボタンを表示する箇所を"非表示"、"上下"、"上のみ"、"下のみ" に設定できます。
- ◆ ボタンのラベルはプロパティから変更可能です。「値を編集する」にチェックを入れると値を変更できます。

コンポーネントプロパティの設定

より入力しやすい画面にするために、画面に配置済みのコンポーネント(入力項目、ページブロック、ページブロックセクション、ボタン)のプロパティを設定します。

日付項目の右側には「本日日付リンク」がデフォルト表示されます。こちらは日付項目の値=レコード作成日とする場合には大変便利な機能ですが、求人案件レコードを作成する当日が就業開始日/就業終了日となることは現実的ではないため、SVE_HREditでは非表示にします。

- 1. 就業開始日の入力エリアをクリックします。
- 2. コンポーネントプロパティの [本日日付リンク表示] のチェックを OFF にします。
- 3. 就業終了日の入力エリアをクリックします。

4. コンポーネントプロパティの [本日日付リンク表示] のチェックを OFF にします。

Tips:

◇ キャンバスエリアに配置した項目は Ctrl キーを押し続けながら選択することで複数選択し、共通するプロパティをプロパティをプロパティエリアから一括で設定することができます。

性別は選択肢が"男性/女性"であり、"なし"は選択しません。今回はこの項目をラジオボタン化し、 [なし] の表示を外します。

- 1. 性別の入力エリアをクリックします。
- 2. コンポーネントプロパティの [ラジオボタン化] のチェックを ON にします。
- 3. その下の [「なし」を表示] のチェックを OFF にします。

ページブロックのラベルがデフォルトの "Component1" のままとなっていますので、"求人案件"に変更します。

- 1. ページブロックをクリックします。
- 2. コンポーネントプロパティの [タイトル] を "求人案件" に修正します。

ページブロックセクションも同様に、"Component2"部分を"詳細情報"に変更します。

- 1. ページブロックセクションをクリックします。
- 2. コンポーネントプロパティの [タイトル] を "詳細情報" に修正します。

以上で、コンポーネントプロパティの設定が完了しました。この段階で Salesforce にデプロイして、実際の画面(Studio から生成された Visualforce ページ)を確認してみましょう。

- 1. ファイルメニューの [デプロイ] をクリックします。
- 2. デプロイ確認ダイアログで [テスト環境] を選択し、[デプロイ] をクリックします。
- 3. デプロイが成功すると、デプロイ完了ダイアログが開きます。Visualforce ページ名の [ページを開く] リンクをクリックしても画面を開くことができますが、今回は Chrome または Firefox で画面を確認しますので、ここではクリックしません。
- 4. DE 組織にログインしているブラウザのアドレスバーで、"force.com/" より右の文字列を削除し、 後ろに "apex/SVE_HREdit" と入力して実行します。

例: https://mydomain.lightning.force.com/apex/SVE HREdit

5. Visualforce がプレビューされますので、期待通りのレイアウトで表示されているかを確認します。

このプレビュー方法では、Lightning Experience のヘッダーとタブが表示されずにデプロイした画面のみが表示されてしまいますが、実際に利用するための設定は後ほど行いますので、ここではまず画面の出来上がりを確認してください。

Tips:

◇ デプロイ先をテスト環境にするか本番環境にするかにより、Apex クラスのテスト実行方法が異なります。詳細はヘルプを参照してください。

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/apdY

開いた画面で実際にデータを入力して保存し、レコードを作成してください。レコードを作成したら、このレコードを使用してもう一度画面を開きます。

1. 保存後に遷移した画面の URL から 18 桁の ID をコピーします。

例:

https://mydomain.force.com/lightning/r/svewb_HR__c/a0C0K00001B7SMlUAN/view

2. Visualforce 画面の URL の末尾に "?id=" を付加したものの更に後ろに 1 でコピーした 18 桁の ID を入力して実行します。

例:

https://mydomain.lightning.force.com/apex/SVE_HREdit?id=a0C0K000 01B7SMlUAN

マージフィールドを使用した表示テキストの動的表示設定

Studio に戻り、さらに視認性を高める工夫を SVE_HREdit に施していきましょう。

先ほど作成した画面に 18 桁の ID を指定した状態で開くと、レコードの編集画面として表示できます。しかし、編集した後ではレコードの値が変わり、元々は何のレコードだったのかが分からなくなる場合があると思います。そこで、マージフィールドを使用して編集前の件名がページブロックのタイトルに表示されるようにします。

SkyVisualEditor VFでは、ページブロックのタイトルに固定の文字列以外の項目値を表示させることが可能です。今回は「求人案件」という固定の文字列の後ろに、全角空白と"件名"という文字をつなげます。

1. ページブロックをクリックします。

[タイトル] の内容を以下のように修正します。
 求人案件 {!record.title__c}

ページブロックの設定が完了したら、デプロイして画面を確認してください。

求人案件 テラスカイ様_一般事務		保存	キャンセル
詳細情報	案件名		
取引先	株式金牡ララスカイ	案件名	テラスカイ様」一般事務
恭集駐種	OA事務 ▼	就業場所(都道府県)	東京都 ▼
就業開始日	2019/11/01	就業終了日	2020/03/31

図 14 : デプロイ後のページブロックのタイトル

Tips:

データテーブルの設定

さて、ここで今一度 TS スタッフィング株式会社の顧客要件と SkyVisualEditor VF による実装方法について振り返りましょう。

関連リストを画面遷移なく追加・編集・一括操作可能にする。

子オブジェクトである「紹介」のレコードを求人案件の編集画面から追加や編集できるようにする必要がありますので、SVE HREditにデータテーブルを追加します。

- 1. コンポーネントタブのレイアウトセクションから [ページブロック] をデザインキャンバスの最下部にドラッグ&ドロップします。
- 2. ページブロックのタイトルを "紹介" に変更します。
- 3. コンポーネントタブのレイアウトセクションから [データテーブル] をページブロック内にドラッグ & ドロップ します。
- 4. テーブル設定ダイアログの [オブジェクト] で "紹介:svewb_Candidate__c" を選択します。
- 5. [列数] を "9" に変更します。
- 6. [表示機能設定] エリアの [一括編集][選択削除] を ON にします。
- 7. [OK] をクリックします。



8. オブジェクトタブをアクティブにし、関連オブジェクトタブで "紹介:svewb_Candidate__c" を選択 します。

9. 配置項目種別を"入力"にし、項目をデータテーブル内にドラッグ&ドロップします。

1列目: 人材

(2~4列目には配置しない)

5列目: 状況 6列目:紹介日 7列目: 面談日 8列目: 確定日 9列目: 備考

配置した項目を他の列に移動したい場合は、項目のヘッダー部分をドラッグ&ドロップして入れ替え て下さい。

データテーブルの 2 列目から 4 列目は人材レコードの項目値を表示させるためにわざと空けてあります。 SkyVisualEditor VF では親の項目を表示項目として配置することができますので、Salesforce 上で 数式項目を作成することなく SVE_HREdit 内に人材の項目を配置することができます。

1. 配置項目種別を"表示"に切り替えます。

2. 人材の左側にある三角のアイコンをクリックし、展開します。





3. 展開した項目から該当のものをドラッグ&ドロップでデータテーブルに配置します。

2列目: 人材名

3列目: 現在の就業状況

4列目:電話

データテーブルの設定が完了したら、デプロイして画面を確認してください。





図 15 : 完成イメージ(求人情報編集画面)

以上で求人情報編集画面のデザインが一通り終わりました。まだ数点実装ポイントが残っていますが、こ こでひとまず人材情報編集画面の作成に移りましょう。人材情報編集画面を作成しながら SkyVisualEditor VF の操作方法について更に理解を深めてください。

ページレイアウト取得

求人情報画面は [ファイル] メニューの [新規] で Salesforce レイアウトを選択し、1 から画面を作成していきました。しかし、項目数が多いオブジェクトの場合 1 から作成するのは時間がかかります。 Salesforce レイアウトを利用した画面を作成する場合、既存の Salesforce 標準レイアウトをデザインデータとして取り込むことができます。今回はこの機能を利用して人材情報画面を作成します。 手順に従い作成いただくと、Studio 上では下図のような画面になります。

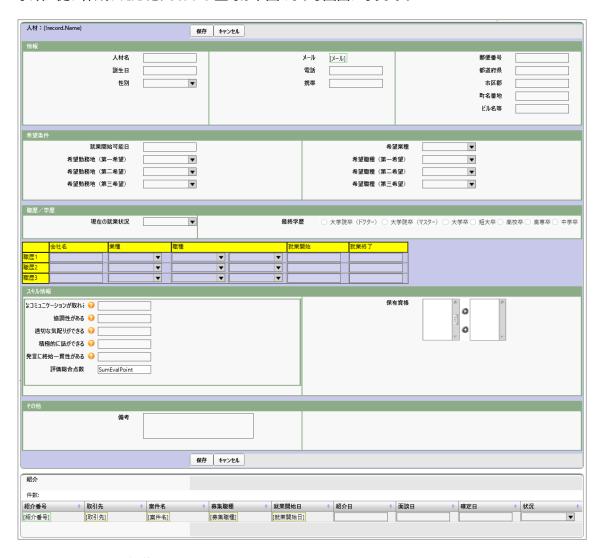


図 16: 人材情報編集画面の Studio 上のイメージ

- 1. [ファイル] メニューの [ページレイアウト取得] をクリックします。
- 2. オブジェクトで [人材] を選択します。
- 3. レコードタイプで [マスタ] を選択します。

Tips:

→ レコードタイプが設定されているオブジェクトを選択すると、マスタの他にレコードタイプ名が選択可能になります。選択したレコードタイプがページレイアウト取得の対象レイアウトになります。

取得に成功すると、以下のコンポーネントが自動で配置されていることが確認できます。

- ・ページブロック
- ページブロックセクション
- · 入力項目
- ・ データテーブル (紹介)
- 関連リスト(活動予定、活動履歴、メモ&添付ファイル)

求人情報画面を作成した時はレイアウトマネージャで Visualforce ページ名を設定しましたが、ページレイアウト取得で生成したデザインデータは Studio が自動で Visualforce ページ名を設定しています。 Visualforce ページ名の修正はページプロパティで行います。

- 1. ページプロパティの [Visualforce ページ 名前] を "SVE_StaffEdit" に修正します。
- 2. ファイルメニューの [保存] を選択して保存します。

次に、求人情報画面で学習した機能を利用して画面をデザインしていきます。

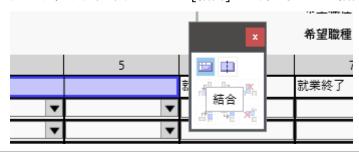
- 1. すべての日付項目の本日日付リンクを非表示にします。
- 2. 所有者 ID はログインユーザーを自動入力させるため、画面から削除します。削除は Delete キー押下、右クリックの削除、オブジェクト/コンポーネントペインヘドラッグ & ドロップのいずれかを操作します。
- 3. 最終学歴をラジオボタン化し、"なし"を非表示にします。
- 4. 情報セクションの列を追加します。
- 5. 郵便番号、都道府県、市区郡、町名番地、ビル名等を3列目に移動します。
- 6. メールを 2 列目の 1 番上に移動します。
- 7. 不要な空白スペースを削除します。
- 8. ページブロックの[タイトル]を"人材: {!record.Name}"に設定します。
- 9. 紹介データテーブルの1列目を右クリックし、「列追加」を選択します。
- 10. 同様に操作し、紹介番号から紹介日の間に新規列が合計 4 列となるように設定します。
- 11. 紹介データテーブルの2列目に、求人案件の取引先を配置します。
- 12. 同様に、3~5列目に求人案件の案件名、募集職種、就業開始日を配置します。
- 13. 人材画面からは紹介レコードは作成しないので、行追加ボタンを外す設定をします。 データテーブル ("件数" の横あたり) をクリックし、データテーブルを選択します。
- 14. データテーブルのプロパティから [行追加ボタン有り] を OFF にします。

15. 関連リストは不要なので関連リストを削除します。 関連リストをクリックし Delete ボタンで削除するか、右クリックして削除します。

パネルグリットによる整形

職歴/学歴セクションには直近 3 社の職歴を入力するための項目が配置されています。 職歴 1,2,3 で 共通の項目があり、それらが縦に並んでいることで冗長な画面構成の原因となっています。 これらの項目 を 「パネルグリッド】 コンポーネントで整形し、視認性の高いデザインにしてみましょう。

- 1. コンポーネントペインのレイアウトセクションから、[パネルグリッド] を職歴/学歴セクションとスキル情報セクションの間にドラッグ&ドロップします。
- 2. パネルグリッド設定ダイアログが開きますので、行数を 4、列数を 7 に設定し、 [OK] をクリックします。
- 3. コンポーネントペインのアイテムセクションから、 [自由テキスト] を配置したパネルグリッドの 2 行 1 列目にドラッグ & ドロップします。
- 4. 配置した自由テキストをダブルクリックもしくはコンポーネントプロパティの [値] のボタンをクリックし、 "職歴 1" に修正します。
- 5. 3 行 1 列目、4 行 1 列目も同様に自由テキストを配置し、値を "職歴 2" "職歴 3" に修正します。
- 6. 1行2列目に自由テキストを配置し、値を"会社名"に修正します。
- 7. 1行3列目、1行4列目、1行6列目、1行7列目も同様に自由テキストを配置し、値を"業種""職種""就業開始""就業終了"に修正します。1行5列目には何も配置しないでください。
- 8. 職歴/学歴セクションに配置されている職歴 1 会社名を 2 行 2 列目にドラッグ&ドロップします。 (項目ラベルは自動的に解除されます。)
- 同様に、他のセルに残りの項目を配置します。5列目には職種小区分を配置してください。
- 10. 自由テキスト(職種)が配置されている1行4列目と1行5列目をドラッグして選択します。
- 11. フローティングウインドウの左上の [結合] をクリックし、セルを結合します。



パネルグリッドの外観は以下の設定がデフォルトです。

・ 横位置: 左・ 縦位置: 上・ 背景色: なし・ 線種: 実線

· 線色: 黒(#000000)

上記設定はコンポーネントプロパティから変更が可能です。

行タイトル/列タイトル部分の背景色と全体の線色をカスタマイズしてみましょう。

- 1. セルの 1 行 1 列目から 1 行 7 列目をドラッグして選択します。
- 2. コンポーネントプロパティの [背景色] から任意の色をパレットから選択します。色コードを直接記述 することで、パレット以外の色を指定することも可能です。
- 3. セルの 2 行 1 列目から 4 行 1 列目をドラッグして選択します。
- 4. コンポーネントプロパティの [背景色] から任意の色をパレットから選択します。
- 5. 1 行 1 列目をダブルクリックして、パネルグリッドを選択します。
- 6. コンポーネントプロパティの [線色] で任意の色を設定します。
- 7. 1行1列目から4行7列目をドラッグして全てのセルを選択します。
- 8. コンポーネントプロパティの [線色] をパネルグリッドの線色と同じ設定にします。

Tips:

- ◇ その他、セル内の位置設定やセルパディング、セルスペース等様々な設定が可能です。
- ◆ 例えば、セルパディングに3と入力すると、セル内余白を上下左右に3px ずつ持たせることができます。個別のセルに対する余白設定や、上下左右の個別設定を行いたい場合は[追加スタイル]にインラインスタイルを記述することができます。

これで共通項目をすっきりと表示できました。 職歴/学歴セクションに残っている空白スペースは不要なので、 削除しておきましょう。

入れ子にしたページブロックセクションよる整形

スキル情報セクションには 2 列目に複数選択リスト項目(保有資格)があり、1 列目の 1 項目と 2 項目目の間が間延びしています。

適切なコミュニケーションが取れ	②
協調性がある	<u> </u>
脚門江川のる	
適切な気配りができる	?

この余分なスペースを詰めて表示したいので、ページブロックセクションを入れ子にして整形します。

- 1. コンポーネントペインからページブロックセクションをスキル情報セクションの 1 列目にドラッグ & ドロップします。
- 2. 列数を "1" に指定します。



- 3. 追加したページブロックセクションのプロパティで [ヘッダー表示有り] を OFF にします。
- 4. スキル情報セクションの1列目の5項目を、追加したページブロックセクション内に移動します。

計算式の設定

スキル情報セクションの 1 列目に配置している 5 項目は、人材のスキルレベルを評価項目ごとに 0~10 の数値でスコアリングする数値項目です。5 つの評価項目の合計値は数式項目で計算されています。数式項目はレコードを保存しないと再計算されないため、入力しながら合計値を確認するための項目としては利用できません。

そこで、SkyVisualEditor VF の計算式機能を利用し、入力しながら合計値が確認できる機能を設定します。

計算式を利用するには、計算結果を表示させるための入力項目(数値型、通貨型、パーセント型)も しくは [計算結果] コンポーネントを画面に予め配置しておく必要があります。今回は [計算結果] コン ポーネントを利用します。

- 1. コンポーネントペインのアイテムセクションから [計算結果] をスキル情報セクションの 1 列目最下部 にドラッグ & ドロップします。
- 2. "calcResult" と書かれたラベルをクリックし、コンポーネントプロパティの [値] を "評価総合点数" に修正します。

次に設定する計算式で利用しやすいように、計算結果入力項目の ID を変更しておきます(これは必ずしも計算結果コンポーネントの利用にあたり必要な設定ではありません)。

- 1. "評価総合点数" ラベルの右の入力項目をクリックします。
- 2. コンポーネントプロパティの [ID] を "SumEvalPoint" に修正します。

次に、計算式の設定を行います。

計算式には3つの計算処理方法が準備されています。

主オブジェクト計算式	画面に配置した主オブジェクトの入力項目(数値型、通貨型、パーセント型)及び固定値を利用して、四則演算設定ができます。計算結果は主オブジェクトの入力項目(数値型、通貨型、パーセント型)または [計算結果] コンポーネントに出力することができます。
集計計算式	データテーブルに配置した関連オブジェクトの入力項目(数値型、通貨型、パーセント型)を集計して、主オブジェクトの入力項目(数値型、通貨型、パーセント型)または [計算結果] コンポーネントに出力することができます。
関連オブジェクト計算式	データテーブルに配置した関連オブジェクトの入力項目(数値型、通貨型、パーセント型)及び固定値を利用して、四則演算設定ができます。 計算結果は関連オブジェクトの入力項目(数値型、通貨型、パーセント型)に出力することができます。

今回は人材オブジェクトの項目を集計するので、主オブジェクト計算式を使用します。

- 1. ページプロパティの [計算式] セクションをクリックし、展開します。
- 2. [計算式の編集] をクリックします。
- 3. 主オブジェクト計算式セクションの [追加] をクリックします。
- 4. "="の右のプルダウンから "SumEvalPoint" を選択します。
- 5. [編集] をクリックします。
- 6. 項目リストで項目を1つクリックします。
- 7. [+] をクリックします。
- 8. 残りの4つの項目も同様に設定します。
- 9. [完了] をクリックします。
- 10. [OK] をクリックして、計算式の設定を終了します。

以上で、編集画面のデザインが完了しました。デプロイして動作を確認してみましょう。



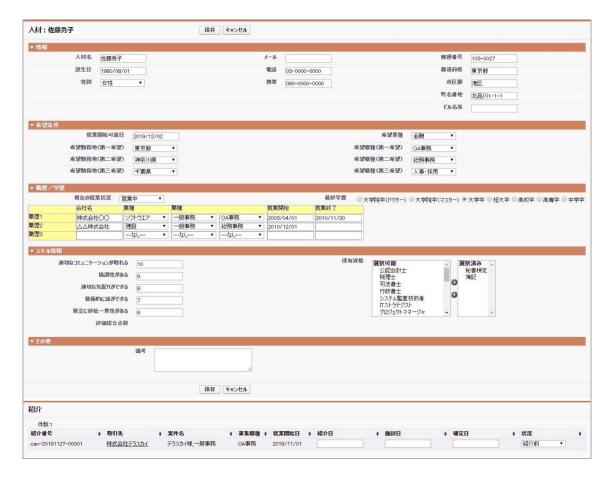


図 17 : 完成イメージ(人材情報編集画面)

参照画面作成

前項までで、案件情報編集画面と人材情報編集画面の 2 画面が作成できました。本項では、作成済 みの編集画面から参照画面を作成する方法を学びます。

手順に従い作成いただくと、Studio上では下図のような画面になります。



図 18: 求人情報表示画面の Studio 上のイメージ



- 1. ファイルメニューから [開く] を選択します。
- 2. "SVE_HREdit" を選択して [開く] をクリックします。
- 3. ツールメニューから [参照画面作成] を選択します。
- 4. [変換後 Visualforce ページ名] を "SVE_HRView" に修正し、[OK] をクリックします。

上記手順により、入力項目が自動で表示項目へ変換された参照画面が自動生成されました。生成さ れた画面をカスタマイズし、参照画面を完成させましょう。

- 1. 性別のラジオボタン化を OFF にします。
- 2. 求人案件のページブロックを選択し、タイトルから" {!record.title__c}"を削除します。
- 3. デプロイします。



図 19 : 完成イメージ(求人情報参照画面)

同様に、人材参照画面も作成します。

手順に従い作成いただくと、Studio上では下図のような画面になります。

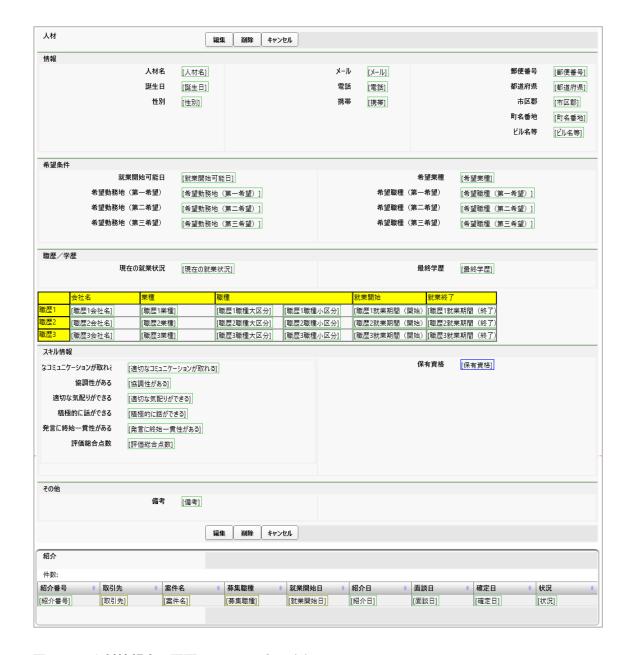


図 20 : 人材情報表示画面の Studio 上のイメージ

- 1. ファイルメニューから [開く] を選択します。
- 2. "SVE_StaffEdit" を選択して [開く] をクリックします。
- 3. ツールメニューから [参照画面作成] を選択します。
- 4. [変換後 Visualforce ページ名] を "SVE_StaffView" に修正し、[OK] をクリックします。
- 5. 最終学歴のラジオボタン化を OFF にします。
- 6. ページプロパティの [計算式] セクションをクリックし、展開します。
- 7. [計算式の編集] をクリックします。



- 8. 主オブジェクト計算式セクションに設定された計算を削除し、「OK]をクリックします。
- 9. 評価総合点数(計算結果コンポーネント)を削除し、同じ位置に評価総合点数(表示項目) を配置します。
- 10. デプロイします。



図 21 : 完成イメージ (人材情報参照画面)

以上で参照画面の作成は完了です。

LEX デザインの適用

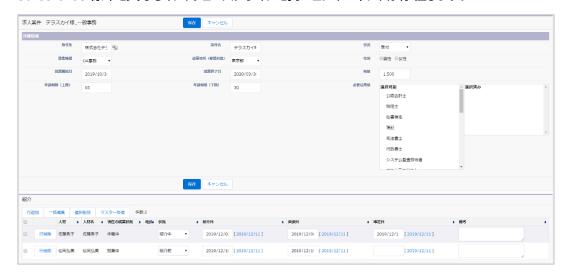
求人情報及び人材情報の各種画面の作成は以上で完了ですが、デプロイされた画面を見てみると、何 か重要な点に気づきませんか?そうです、まるで Classic で開いているようなデザインになっていることに気 づくと思います。実は、SkyVisualEditor VF は任意で LEX デザインを適用しない限り、Classic のデ ザインで出力するページを生成します。今回は Lightning Experience での利用を前提に実装してい ますので、作成したすべての画面に LEX デザインを適用したいと思います。

LEX デザインを適用する前に、SkyVisualEditor VFの LEX デザインはどのような特徴を持った機能な のかを理解しておきましょう。

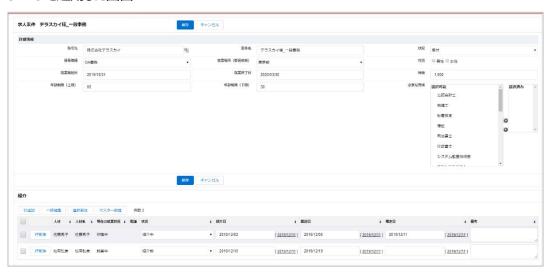
SkyVisualEditor VFの LEX デザインの特徴

SkyVisualEditor VFのLEX デザインは、あくまでも SkyVisualEditor VFで生成した Visualforce ページを Lightning Experience "風" に表示するための機能です。 したがって、以下のような仕様となっています。

Salesforce Lightning Design System (SLDS) には準拠していません。したがって、
 Salesforce 標準と異なるインタフェースデザインを持つコンポーネントが存在します。



SLDS を適用した画面



Studio の LEX 化を行った画面

Studio 上では LEX デザインは適用されません。デプロイ後の確認となります。



Studio 上での画面



デプロイ後の画面

LEX デザインはページ単位で有効化が可能です。有効化されたページ内でのデザイン適用例を以下に示 します。

コンポーネント	LEX デザイン無効化	LEX デザイン有効化
フォント	SalesforceやAWSなどクラウド環境のシステム・インテグレーションとクラウド間のシステム連携を軸に、最先端のテクノロジーを活用したソリューションを提供	SalesforceやAWSなどクラウド環境 のシステム・インテグレーションと クラウド間のシステム連携を軸に、 最先端のテクノロジーを活用したソ リューションを提供
入力項目	取引先名 デラスカイ※※	取引先名 テラスカイ※
ボタン	保存	保存



LEX デザインは、以下のレイアウト及びテンプレートが対応しています。

- · Salesforce レイアウト
- 検索テンプレート
- カスタムルックアップテンプレート
- 親子テンプレート
- ・ ウィザードテンプレート(Salesforce レイアウトのみ)

lightningStylesheets 属性との違い

Visualforce には apex:page タグの属性として <u>lightningStylesheets 属性</u>が用意されていることを ご存知の方もいるかと思います。lightningStylesheets 属性を true にした Visualforce ページは、 lightningStylesheets 属性をサポートしている Visualforce コンポーネントに対して自動で Lightning Experience のデザインを適用します。

Studio で生成した Visualforce ページは編集が可能なため、デプロイの度に lightningStylesheets="true" を追記して適用することもできますが、SkyVisualEditor VF が独自に用意しているコンポーネントにはデザインが適用されないため、この方法はおすすめしません。

詳しくは、以下のメリット/デメリット比較表をご確認ください。

SkyVisualEditor VF で lightningStylesheets 属性または LEX デザインを利用する際のメリットとデメリット

	lightningStylesheets 属性	SkyVisualEditor VFの LEX デザイン
メリット	・ Classic で開いた場合と Lightning Experience で開いた場合のスタイル設定を自動で制御してくれる	 SkyVisualEditor VF 独自のコンポーネントに対してもスタイルが適用される。 入力項目 100%化オプションがある・デザイン設定のためのソースはSkyVisualEditor VFパッケージ内に含まれるため、SkyVisualEditor VF 同一バージョン内でのデザインポリシーが保証される(バージョンアップを行わない限りデザインが突然かわることはない)
デメリット	 デプロイする度に Visualforce ページのソースに直接設定を記述する必要がある 対応していないコンポーネントにスタイルを設定したい場合は Visualforce ページのソースに直接個別スタイル設定を記述する必要がある 常に最新版の Lightning Design System (SLDS) が適用されるため、SLDS のバージョンアップ前後でデザインが突然変わる可能性がある 	 Lightning Experience で開いたときのみデザインを適用したい場合には別途 Classic 用に機能を無効化したページを用意する必要がある。



図 22 : 求人案件の参照画面に SkyVisualEditor VF の LEX デザインを適用した画面



図 23: 求人案件の参照画面に lightningStylesheets 属性を適用した画面

lightningStylesheets で使う SLDS は常に最新版が適用されるため、バージョンアップの前後で突然デザインが変わる可能性があります。また、SkyVisualEditor VF では独自の部品を利用しているため、上記のように lightningStylesheets を適用してしまうと、体裁が崩れてしまいます。

lightningStylesheets 属性は、Salesforce でサポートされている apex タグを利用し、手書きで Visualforce を作成したシンプルな画面の場合でのご利用をお勧めします。

それでは、実際に作成した画面へ LEX デザインを適用してみましょう。

- 1. ファイルメニューから [開く] を選択します。
- 2. "SVE_HRView"を選択して「開く」をクリックします。

3. ページプロパティの[LEX デザイン]を展開し、[有効化]と[入力項目 100%化]にチェックを入れます。

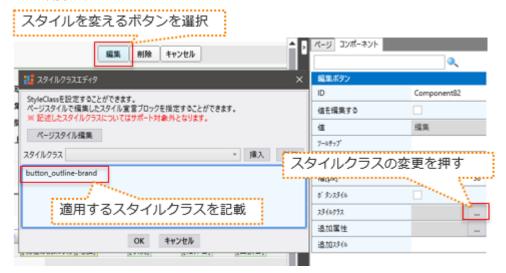
ボタンスタイルの適用

LEX デザインを適用したベージに配置したボタンには、ボタンのプロパティに所定のスタイルを適用することで、Salesforce Lightning Design System (SLDS) 同様のボタンスタイルを適用することが可能です。

SkyVisualEditor VFのLEX デザインで用意しているスタイルは、以下の4つ + 自動で適用されるスタイル (デフォルト) の5つです。

スタイルクラス	デプロイ後の表示					
button_brand	button_brand					
button_outline-brand	button_outline-brand					
button_destructive	button_destructive					
button_success	button_success					
なし (デフォルト)	スタイルなし					

4. スタイルを変えるボタンを選択し、スタイルクラスエディタを表示して下記の通り各ボタンにスタイルクラ スを適用します。



編集: button_outline-brand

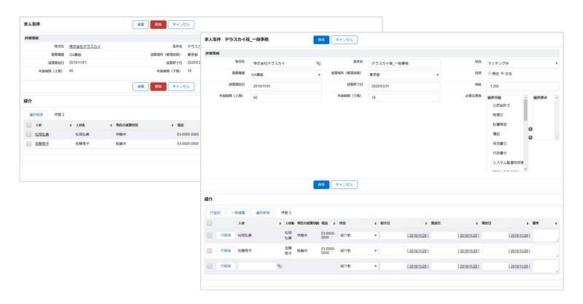
削除: button_destructive

保存: button brand

キャンセル: button_outline-brand

- 5. スタイルクラスエディタの[OK] をクリックします。
- 6. デプロイします。

1~6の手順を"SVE_HREdit"、"SVE_StaffView"、"SVE_StaffEdit"の3画面に対しても作業 を行います。



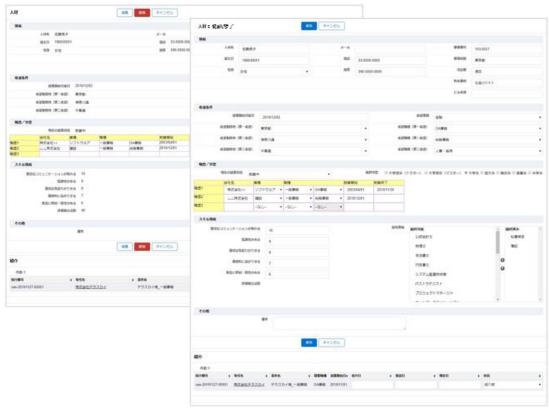


図 24:完成イメージ(左上:求人案件の参照画面、右上:求人案件の編集画面、左下:人材の参 照画面、右下:人材の編集画面)

6. 自由レイアウトによる画面の実装

所要時間: 20~40分

TS スタッフィング株式会社の要件の中に、スキルシートを Salesforce から直接出力したいという要件がありました。スキルシートは既に Excel でフォーマットが決まっており、運用されています。こちらのフォーマットをそのまま利用し、Salesforce の人材レコードを出力する画面を自由レイアウトで作成します。

自由レイアウトの特徴

自由レイアウトの最大の特徴は、各コンポーネントを好みの位置に配置できるということと、背景に画像を表示できるというところです。今回のように、既存の帳票をそのまま活用して画面を作成する場合に威力を発揮するレイアウトです。

背景画像の設定

背景に利用したい帳票などがある場合、画像データで準備しておく必要があります。利用可能なフォーマットは以下のとおりです。

- · image/bmp
- · image/gif
- · image/jpeg
- · image/pjpeg
- · image/png
- · image/x-png

画像データが用意できたら、Salesforce の静的リソースにアップロードします。静的リソースの詳細ならび に利用方法は Salesforce のヘルプを確認してください。

https://help.salesforce.com/HTViewHelpDoc?id=pages_static_resources.htm&language=ja

今回は既に学習用パッケージに含まれる静的リソースを使用してスキルシート画面を作成します。手順に従い作成いただくと、Studio上では下図のような画面になります。

スキルシート



個人情報

 氏
 名:
 [人材名]

 年
 節:
 [年韵]

 性
 別:
 [性別]

 自宅所在地:
 [都道府県]

 就業開始可能日:
 (就業開始可能日)

キャリア情報

最終学歴: [最終学歴] 現在の就業状況: [現在の就業状況]

直近3社職歴:

	会社名	業種	職種	就業期間
1	[職歴1会社名]	[職歴1業種]	[職歴1職種小区分]	[職歴1就業期間(開始)] ~ [職歴1就業期間(終了)]
2	[職歷2会社名]	[職歴2業種]	[職歴2職種小区分]	[職歷2就業期間(開始)] ~ [職歷2就業期間(終了)]
3	[職歴3会社名]	[職歴3業種]	[職歴3職種小区分]	[職歴3就業期間(開始)] ~ [職歴3就業期間(終了)]

スキル情報

保有資格: [保有資格]

面談結果:

適切なコミュニケーションが取れる	[適切なコミュニケーションが取れ
協調性がある	[協調性がある]
適切な気配りができる	[適切な気配りができる]
積極的に話ができる	[積極的に話ができる]
発言に終始一貫性がある	[発言に終始一貫性がある]

図 25 : スキルシート表示画面の Studio 上のイメージ

- 1. ファイルメニューの [新規] を選択します。
- 2. 自由レイアウトを選択します。
- 3. オブジェクトで [人材] を選択します。
- 4. Visualforce ページ名に "SVE_Skillsheet" と入力します。
- 5. OK ボタンをクリックします。
- 6. ページプロパティの背景画像セクションを展開し、参照ボタンをクリックします。
- 7. "skillsheet" を選択して、[OK] をクリックします。

ここまでの手順で、背景画像を設定した画面が設定できました。引き続き項目を並べ、画面を完成させますが、この画面上ではデータの入力は行いませんので、すべて表示項目で配置します。配置箇所は以下を参考にしてください。

項目名	配置箇所
人材名	"氏名"の右側
年齢	"年齢"の右側
性別	"性別"の右側
都道府県	"自宅所在地"の右側

就業開始可能日 "就業開始可能日"の右側 最終学歴 "最終学歴"の右側 現在の就業状況 "現在の就業状況"の右側 職歴 1 会社名 "会社名"の 1 行目 職歴 2 会社名 "会社名"の 2 行目 職歴 3 会社名 "会社名"の 3 行目 職歴 1 業種 "業種"の 1 行目 職歴 2 業種 "業種"の 2 行目 職歴 3 業種 "業種"の 2 行目 職歴 3 業種 "業種"の 3 行目 職歴 1 職種小区分 "職種"の 1 行目 職歴 2 職種小区分 "職種"の 2 行目 職歴 3 職種小区分 "職種"の 2 行目 職歴 1 職 1 以業期間 (開始) "就業期間"の 3 行目 "~"の左側 職歴 2 就業期間 (開始) "就業期間"の 2 行目 "~"の左側 職歴 2 就業期間 (開始) "就業期間"の 3 行目、"~"の左側 職歴 3 就業期間 (開始) "就業期間"の 3 行目、"~"の右側 職歴 3 就業期間 (終了) "就業期間"の 3 行目、"~"の右側 職歴 1 就業期間 (終了) "就業期間"の 3 行目、"~"の右側 職歴 2 就業期間 (終了) "就業期間"の 3 行目、"~"の右側 職歴 2 就業期間 (終了) "就業期間"の 3 行目、"~"の右側 、定 3 就業期間 (終了) "就業期間"の 3 行目、"~"の右側		
現在の就業状況	就業開始可能日	"就業開始可能日"の右側
職歴 1 会社名	最終学歴	"最終学歴"の右側
職歴 2 会社名	現在の就業状況	"現在の就業状況"の右側
職歴 3 会社名	職歴 1 会社名	"会社名"の1行目
職歴 1 業種	職歴2会社名	"会社名"の2行目
職歴 2 業種 "業種"の 2 行目 職歴 3 業種 "業種"の 3 行目 職歴 1 職種小区分 "職種"の 1 行目 職歴 2 職種小区分 "職種"の 2 行目 職歴 3 職種小区分 "職種"の 2 行目 職歴 1 就業期間 (開始) "就業期間"の 1 行目、"~"の左側 職歴 2 就業期間 (開始) "就業期間"の 2 行目、"~"の左側 職歴 2 就業期間 (開始) "就業期間"の 3 行目、"~"の左側 職歴 3 就業期間 (開始) "就業期間"の 3 行目、"~"の左側 職歴 1 就業期間(終了) "就業期間"の 1 行目、"~"の右側 職歴 2 就業期間(終了) "就業期間"の 1 行目、"~"の右側 職歴 2 就業期間(終了) "就業期間"の 2 行目、"~"の右側 で就業期間(終了) "就業期間"の 3 行目、"~"の右側 でおきる 就業期間(終了) "就業期間"の 3 行目、"~"の右側 でおきる がまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	職歴 3 会社名	"会社名"の3行目
職歴 3 業種	職歴1業種	"業種"の1行目
職歴1職種小区分 "職種"の1行目 職歴2職種小区分 "職種"の2行目 職歴3職種小区分 "職種"の3行目 職歴1就業期間(開始) "就業期間"の1行目、"~"の左側 職歴2就業期間(開始) "就業期間"の2行目、"~"の左側 職歴3就業期間(開始) "就業期間"の3行目、"~"の左側 職歴1就業期間(終了) "就業期間"の1行目、"~"の右側 職歴2就業期間(終了) "就業期間"の1行目、"~"の右側 職歴2就業期間(終了) "就業期間"の2行目、"~"の右側 職歴3就業期間(終了) "就業期間"の3行目、"~"の右側 職歴3就業期間(終了) "就業期間"の3行目、"~"の右側 で保有資格 "保有資格"の右側 "適切なコミュニケーションが取れる"の右側を "適切なコミュニケーションが取れる"の右側を "適切な気配りができる"の右側塗りつぶし部分 適切な気配りができる "適切な気配りができる"の右側塗りつぶし部分 積極的に話ができる "積極的に話ができる"の右側塗りつぶし部分	職歴2業種	"業種"の2行目
職歴 2 職種小区分 "職種"の 2 行目 職歴 3 職種小区分 "職種"の 3 行目 職歴 1 就業期間(開始) "就業期間"の 1 行目、"~"の左側 職歴 2 就業期間(開始) "就業期間"の 2 行目、"~"の左側 職歴 3 就業期間(開始) "就業期間"の 3 行目、"~"の左側 職歴 1 就業期間(終了) "就業期間"の 1 行目、"~"の右側 職歴 2 就業期間(終了) "就業期間"の 2 行目、"~"の右側 職歴 3 就業期間(終了) "就業期間"の 2 行目、"~"の右側 職歴 3 就業期間(終了) "就業期間"の 3 行目、"~"の右側 「保有資格 "保有資格"の右側 "保有資格"の右側 「適切なコミュニケーションが取れる"の右側塗りつぶし部分 協調性がある "協調性がある"の右側塗りつぶし部分 適切な気配りができる "適切な気配りができる"の右側塗りつぶし部分 積極的に話ができる "積極的に話ができる"の右側塗りつぶし部分	職歴3業種	"業種"の3行目
職歴3職種小区分 "職種"の3行目 "心"の左側 "就業期間 (開始) "就業期間"の1行目、"心"の左側 職歴2就業期間 (開始) "就業期間"の2行目、"心"の左側 職歴3就業期間 (開始) "就業期間"の3行目、"心"の左側 職歴1就業期間 (終了) "就業期間"の1行目、"心"の右側 職歴2就業期間 (終了) "就業期間"の2行目、"心"の右側 職歴3就業期間 (終了) "就業期間"の2行目、"心"の右側 "就業期間"の3行目、"心"の右側 "保有資格"の右側 "保有資格"の右側 "保有資格"の右側 "協切なコミュニケーションが取れる"の右側塗りつぶし部分 協調性がある "協調性がある"の右側塗りつぶし部分 「協調性がある"の右側塗りつぶし部分 「協調性がある"の右側塗りつぶし部分 「適切な気配りができる"の右側塗りつぶし部分 「積極的に話ができる"の右側塗りつぶし部分	職歴1職種小区分	"職種"の1行目
職歴1就業期間(開始) "就業期間"の1行目、"~"の左側 職歴2就業期間(開始) "就業期間"の2行目、"~"の左側 職歴3就業期間(開始) "就業期間"の3行目、"~"の左側 職歴1就業期間(終了) "就業期間"の1行目、"~"の右側 職歴2就業期間(終了) "就業期間"の2行目、"~"の右側 職歴3就業期間(終了) "就業期間"の3行目、"~"の右側 環体3就業期間(終了) "就業期間"の3行目、"~"の右側 "保有資格"の右側 "保有資格"の右側 適切なコミュニケーションが取れる "適切なコミュニケーションが取れる"の右側塗りつぶし部分 協調性がある "協調性がある"の右側塗りつぶし部分 適切な気配りができる "適切な気配りができる"の右側塗りつぶし部分 積極的に話ができる "積極的に話ができる"の右側塗りつぶし部分	職歴 2 職種小区分	"職種"の2行目
職歴2就業期間(開始) "就業期間"の2行目、"~"の左側 職歴3就業期間(開始) "就業期間"の3行目、"~"の左側 職歴1就業期間(終了) "就業期間"の1行目、"~"の右側 職歴2就業期間(終了) "就業期間"の2行目、"~"の右側 職歴3就業期間(終了) "就業期間"の3行目、"~"の右側 保有資格 "保有資格"の右側 適切なコミュニケーションが取れる "適切なコミュニケーションが取れる"の右側塗りつぶし部分 協調性がある "協調性がある"の右側塗りつぶし部分 適切な気配りができる "適切な気配りができる"の右側塗りつぶし部分 積極的に話ができる "積極的に話ができる"の右側塗りつぶし部分	職歴 3 職種小区分	"職種"の3行目
職歴3就業期間(開始) "就業期間"の3行目、"~"の左側 職歴1就業期間(終了) "就業期間"の1行目、"~"の右側 職歴2就業期間(終了) "就業期間"の2行目、"~"の右側 職歴3就業期間(終了) "就業期間"の3行目、"~"の右側 保有資格 "保有資格"の右側 適切なコミュニケーションが取れる "適切なコミュニケーションが取れる"の右側塗りつぶし部分 協調性がある "協調性がある"の右側塗りつぶし部分 適切な気配りができる "適切な気配りができる"の右側塗りつぶし部分	職歴1就業期間(開始)	"就業期間"の1行目、"~"の左側
職歴 1 就業期間(終了) "就業期間"の 1 行目、"~"の右側 職歴 2 就業期間(終了) "就業期間"の 2 行目、"~"の右側 職歴 3 就業期間(終了) "就業期間"の 3 行目、"~"の右側 保有資格 "保有資格"の右側 適切なコミュニケーションが取れる "適切なコミュニケーションが取れる"の右側塗りつぶし部分 協調性がある "協調性がある"の右側塗りつぶし部分 適切な気配りができる "適切な気配りができる"の右側塗りつぶし部分 積極的に話ができる "積極的に話ができる"の右側塗りつぶし部分	職歴2就業期間(開始)	"就業期間"の2行目、"~"の左側
職歴 2 就業期間(終了)	職歴3就業期間(開始)	"就業期間"の3行目、"~"の左側
職歴 3 就業期間(終了) "就業期間"の 3 行目、"~"の右側 保有資格 "保有資格"の右側 適切なコミュニケーションが取れる "適切なコミュニケーションが取れる"の右側塗りつぶし部分 協調性がある "協調性がある"の右側塗りつぶし部分 適切な気配りができる "適切な気配りができる"の右側塗りつぶし部分 積極的に話ができる "積極的に話ができる"の右側塗りつぶし部分	職歴1就業期間(終了)	"就業期間"の1行目、"~"の右側
保有資格	職歴2就業期間(終了)	"就業期間"の2行目、"~"の右側
適切なコミュニケーションが取れる	職歴3就業期間(終了)	"就業期間"の3行目、"~"の右側
協調性がある	保有資格	"保有資格"の右側
適切な気配りができる	適切なコミュニケーションが取れる	"適切なコミュニケーションが取れる"の右側塗りつぶし部分
積極的に話ができる "積極的に話ができる"の右側塗りつぶし部分	協調性がある	"協調性がある"の右側塗りつぶし部分
	適切な気配りができる	"適切な気配りができる"の右側塗りつぶし部分
発言に終始一貫性がある "発言に終始一貫性がある"の右側塗りつぶし部分	積極的に話ができる	"積極的に話ができる"の右側塗りつぶし部分
	発言に終始一貫性がある	"発言に終始一貫性がある"の右側塗りつぶし部分

"出力日"は出力する当日の日付(今日)を表示したいので、 [本日日付] コンポーネントを利用しましょう。

1. コンポーネントペインから [本日日付] を "出力日"の右側にドラッグ&ドロップします。

配置後、コンポーネントプロパティで日付の書式等を変更できます。今回はデフォルトのままで OK です。

Tips:

◆ 自由レイアウトは配置コンポーネントの位置揃えを補助するグリッド表示/吸着機能を備えています。詳細はヘルプを 参照してください。

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/ZJRY

PDF 化

スキルシートは最終的にクライアントへ提出する帳票なので、PDF に出力します。SkyVisualEditor VFでは Visualforce の PDF レンダリング機能を利用して、PDF を出力することができます。

- 1. ページプロパティの PDF セクションを展開し、 [PDF 化] を ON にします。
- 2. [用紙の向き] を "横" に変更します。
- 3. デプロイします。

デプロイしたら、レコード ID を指定して画面を確認してみましょう。

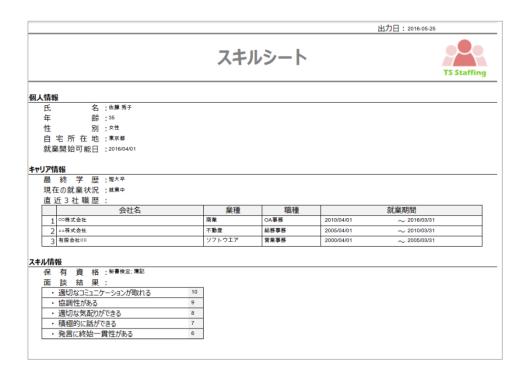


図 26 : 完成イメージ (スキルシート)

Lightning コンポーネントを出力

PDF 化したスキルシートは LEX 画面でプレビュー表示させますので、Lightning コンポーネントとして出力しておきます。

- 1. ページプロパティの Lightning Component セクションを展開し、 [Lightning コンポーネントを出力する] を ON にします。
- 2. デプロイします。

ここではデプロイまでの作業を行い、LEX 画面でプレビューさせるための設定は後ほど行います。

7. 検索テンプレートによる画面の実装

所要時間: 30~50分

TS スタッフィング株式会社の要件のひとつとして、以下の要件が挙がっていました。

検索条件を動的に設定しながら検索し、検索結果を直接編集したい。

この要件を満たす機能として、「検索テンプレート」が利用可能です。今回は、紹介情報を検索し、検索 結果を直接編集できる画面を作成します。

検索テンプレートの特徴

検索テンプレートは、Salesforce 標準のリストビューやレポートでは実現できない機能を有しています。リストビュー及びレポートとの比較を以下に示します。

	リストビュー	レポート	検索テンプレート
検索結果の表示	\bigcirc	\circ	0
レコードの編集/一括編集	0	×	※ ビューと比べてより多くの項 目での編集が可能
複数データを参照しながらの新規レコードの 追加	X	×	0
ヘッダー固定	\circ	0	0
検索条件の登録	\circ	\circ	0
1 画面上で検索条件 の指定と検索結果の 表示が可能	×	×	0
条件を都度指定した 検索	×	0	0
親階層オブジェクトの 項目を検索条件/結果に利用	X	0	0

検索テンプレートはウィザード形式で作成できるので、前章までで学習した Salesforce レイアウト・自由 レイアウトより遥かに短時間で画面開発することが可能です。

ウィザードでの設定

では、早速以下の手順で紹介情報の検索画面を作成していきましょう。



手順に従い作成いただくと、Studio 上では下図のような画面になります。



図 27 : 紹介情報検索画面の Studio 上のイメージ

- 1. ファイルメニューの [新規] を選択します。
- 2. [テンプレート] 検索画面を選択します。
- 3. オブジェクトで "紹介" を選択します。
- 4. Visualforce ページ名に "SVE_CandidateSearch" と入力します。
- 5. [OK] をクリックします。

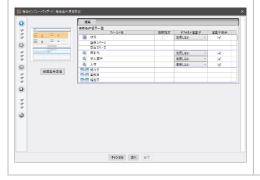
ここまで進むと、設定画面をウィザード形式で進めることができます。設定は以下の流れで行います。 操作の詳細はヘルプも併せてご確認ください。

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/cg9X



検索条件項目選択

検索画面上部に並ぶ、検索条件項目を選択します。 検索条件には親の項目も利用できます。



検索条件項目設定

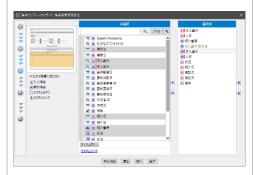
選択した検索条件項目の「複数指定]「デフォルト演 算子] [演算子表示] を設定します。また、この画面 で検索条件の追加設定も行います。





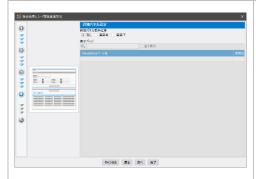
オブジェクトテーブル設定

テーブル種類、テーブル機能及びその他の設定を行い ます。



検索結果項目設定

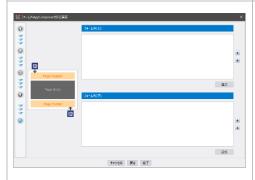
検索結果テーブルに出力する項目を設定します。前の 画面で選んだテーブル種類に応じて、表示項目 and/or 入力項目が選択可能になります。



検索結果レコード詳細画面設定 (詳細パネルの設定)

検索結果の詳細画面を同一画面上に表示する「詳 細パネル]を設定します。

(本ワークブックでは使用しません。)



フォーム外 AppComponent 設定画面

検索画面のフォーム外(検索条件項目エリアの上、ま たは検索結果エリアの下)に配置する AppComponent を設定します。

(本ワークブックでは使用しません。)

では実際に設定を続けましょう。

1. 検索条件項目選択画面で、次の項目を選択します。 状況、求人案件の取引先、求人案件、人材、紹介日、面談日、確定日 ※求人案件の取引先は、SVE_HREdit の紹介データテーブル作成時に親の項目を配置した手 順と同様に、求人案件から選択してください。

※日付項目は単日検索・と範囲検索・ができます。今回は範囲検索を選択してください。

- 2. [表示列数] を "3" に変更します。
- 3. 「空白スペース]を2回クリックします。
- 4. 選択済となった空白スペース2個を、"状況"の下に移動します。
- 5. [OK] をクリックします。

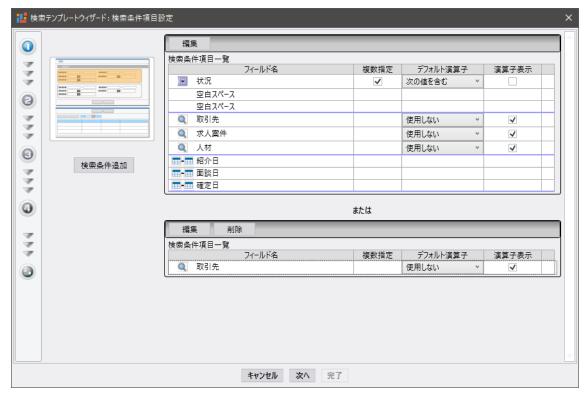
これで、検索条件項目として使用する項目の設定が完了しました。次に、状況(選択リスト項目)をOR 検索するための設定を行います。

- 1. ウィザード画面(検索条件項目設定)で、状況の [複数指定] を ON にします。
- 2. 「デフォルト演算子」を"次の値を含む"に変更します。
- 3. [演算子表示] を OFF にします。

上記設定により、選択リスト値の OR 検索設定が完了しました。さらに、取引先(参照項目)も OR 検索できるように設定します。

- 1. ウィザード画面(検索条件項目設定)の [検索条件追加] をクリックします。
- 2. 求人案件の三角マークをクリックして展開し、取引先を選択します。
- 3. [OK] をクリックします。

取引先の OR 検索設定まで完了しました。次の画面のようになっていたら、検索条件項目の設定は成功です。



選択リスト項目の OR 検索は [複数指定] を ON に、それ以外の項目を OR 検索したい場合は、 [検索条件追加] ボタンから項目を追加することを学習できました。

それでは、次にオブジェクトテーブル設定に進みます。

- 1. 「次へ」をクリックし、オブジェクトテーブル設定に進みます。
- 2. テーブル種類選択で "複合テーブル" を選択します。複合テーブルは、検索結果に表示項目と入 力項目の両方を含めることができる出力形式です。
- 3. テーブル機能で "行削除ボタン" "一括編集" "選択削除" "ページング" "テーブル内検索" を ON にします。紹介レコードは必ず求人案件画面から登録する運用になるため、 "行追加ボタン" は OFF にしてください。

最後に、検索結果に表示する項目の選択をします。

- 1. 「次へ」をクリックし、検索結果項目設定に進みます。
- 2. 以下の項目を選択します。「 」」は表示項目、「 」」は入力項目です。
 - : 紹介番号、求人案件.取引先、求人案件、人材
 - : 状況、紹介日、面談日、確定日、備考
- 3. [完了] をクリックします。

ウィザード完了後の設定

ウィザードでは検索条件項目やテーブル種類、検索結果項目の設定が出来ました。ウィザード完了後に も、各種設定をプロパティエリアから行うことができます。今回は、検索結果にマスク設定、絞込条件及び 検索結果保持形式の設定を行い、更に LEX デザインの適用も行います。

マスク設定

マスク設定とは、保存や削除、テーブルの行レコード追加等の各ボタン押下時に、各入力項目の入力や他のボタン押下を出来ないようにする設定です。マスク設定を有効化すると、入力作業中の誤操作を防ぐことができます。

- 1. ページプロパティをアクティブにします。
- 2. [マスク設定] セクションを展開し、"ページマスク有効化"を ON にします。

絞込条件

検索結果を表示するテーブルには絞込条件及びソート条件を設定することが可能です。この機能を利用し、検索結果をログインユーザーが所有するレコードで絞り込み、紹介日を昇順ソートする設定を行います。

- 1. 検索結果テーブルをクリックしてコンポーネントプロパティをアクティブにします。
- 2. 「高度なテーブル機能」セクションの「絞込条件」ボタンをクリックします。
- 3. 「次へ」をクリックします。
- 4. 検索条件の [追加] をクリックします。
- 5. 項目で"求人案件"を選択します。
- 6. 参照先項目で "所有者 ID" を選択します。
- 7. 演算子で"次の文字列と一致する"を選択します。
- 8. 値で [v] をクリックし、"ユーザーID: USER_ID" を選択します。
- 9. ソート条件の [追加] をクリックします。
- 10. 項目で "紹介日" を選択します。
- 11. [完了] をクリックします。

Tips:

今 今回は主従関係の従側であるオブジェクト(紹介)の検索画面のため、検索条件の項目を主側のオブジェクト (求人案件)の所有者 ID としています。

検索結果保持形式

検索結果保持形式は、検索結果項目数や検索結果レコードデータ量が多い画面で Salesforce のビューステートエラーを発生しにくくするための設定を行うことができます。検索結果保持形式による機能の比較を以下に示します。

形式	ページング	ソート	検索処理
クライアントサイ	・クライアント画面上	・クライアント画面上で処理す	・表示データ量(項目
ド(デフォルト	で処理するため速い	るため速い	数、レコード件数)が多
設定)	・変更データはページ	・複数項目のソートが可能	いと View State エラー
	ング後でも保存可能	・変更データはソート後でも	が発生する可能性有り
		保存可能	・画面表示速度がクライ
			アント端末の性能に影響
			される可能性がある
サーバーサイド	・サーバに通信し、メ	・サーバに通信し、メモリに保	・クライアントサイド方式よ
	モリに保存しているデ	存しているデータを画面に表	りも ViewState エラーが
	- タを画面に表示す	示する	発生しにくく、テーブル機
	る	・単一項目のソートが可能	能が活かされた検索処
	・変更データはページ	・変更データはソート後でも	理が実行可能。
	ング後でも保存可能	保存可能	
毎回クエリ実行	・サーバに通信し、ク	・サーバに通信し、クエリ実行	・毎回画面表示に必要
	エリ実行して最新デ	して最新データを取得して画	なデータのみ検索クエリを
	- タを取得して画面	面に表示する。そのため速度	実行するため、
	に表示する。そのため	は一番遅い	ViewState エラーが非
	速度は一番遅い	・単一項目のソートが可能	常に発生しにくい
	・変更データはページ	・変更データはソート前に保	
	ング前に保存する必	存する必要がある	
	要がある		

SVE_CandidateSearch ではデータテーブルに絞込条件を設定しているためビューステートエラーが発生する可能性は少ないですが、紹介レコードを多数所有しているユーザーが全件検索をしたことを想定し、検索結果保持形式を"サーバーサイド"に設定します。

- 1. 検索結果テーブルをクリックしてコンポーネントプロパティをアクティブにします。
- 2. 高度なテーブル機能セクションの [検索結果保持方式] を "サーバーサイド" に変更します。
- 3. [再描画範囲] を "データテーブル" に変更します。

LEX デザインの適用

最後に、求人情報及び人材情報画面と同様に検索画面にも LEX デザインを適用して設定は完了です。 設定が完了したらデプロイして動作確認を行います。

- 1. ページプロパティの [LEX デザイン] の "有効化" にチェックを入れます。
- 2. デプロイします。

デブロイしたら、検索結果に一致するレコードと一致しないレコードを登録し、動作確認してください。以下が完成イメージです。



図 28 : 完成イメージ(紹介情報検索画面)

8. Lightning コンポーネント連携を活用した検索機能の実装

所要時間: 30~50分

運用が進むと取引先や紹介した人材が増えてきます。データが増えますと、どの取引先に対してどのような人材を紹介したのかを確認する際、Salesforce の標準の検索機能では目的のデータが見つけ難くなることが想定されます。そこで、1つの画面で取引先の情報をキーワードに求人案件を検索し、求人案件の詳細情報と紹介した人材の詳細情報が確認できる機能を実装します。1つの画面で複数オブジェクトの詳細情報を表示するには、アプリケーションページに lightning コンポーネントを配置し、各コンポーネントでパラメータの受け渡しができる Lightning コンポーネント連携を利用することで実現できます。

Lightning コンポーネント連携の特徴

Lightning コンポーネント連携は、作成した画面を Lightning コンポーネントとして出力したときに利用できる機能となります。この機能を利用すると、同一画面に配置した lightning コンポーネント同士で値の受け渡しができるようになります。これにより、画面遷移させることなく、異なるオブジェクトのレコード ID を受け渡すことで別オブジェクトの情報を同一画面に表示できます。

既存画面からの複製と編集

ここでは、下記の 3 つの画面を作成しますが、これらは先に作成した画面をベースに作成します。カッコ内は複製元の画面名です。

- ・人材参照画面(SVE_StaffView)
- ·求人案件参照画面(SVE HRView)
- ·求人案件検索画面(SVE_CandidateSearch)

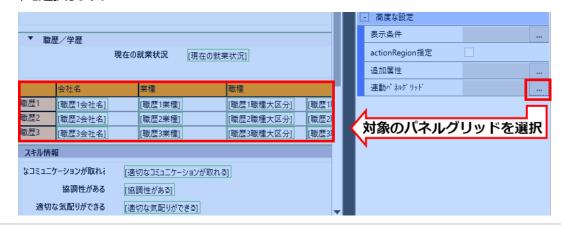
人材参照画面の lightning コンポーネント化

それでは、人材参照画面の複製から始めます。

- 1. ファイルメニューの [開く] を選択します。
- 2. デザインページ選択で、Visualforceページ名が [SVE_StaffView] の画面を選択し、[開く] を クリックします。
- 3. 画面が表示された後、ファイルメニューの [別名保存] を選択します。
- 4. Visualforce ページ名に "SVE_StaffViewLc" と入力します。
- 5. [OK] をクリックします。

最初に別名保存で複製しておくことで、編集後に誤って元の画面を上書きしてしまうことが防げます。 引き続き、画面の編集を行います。今回の画面は、必要な人材情報を見やすく表示することに特化しま すので、ボタンや関連先のデータテーブルは不要です。また、各セクションも折り畳みしておくことで、必要な セクションのみを開いて確認できるようにします。

- 1. 画面に配置されている [編集]、[削除]、[キャンセル] のボタンを削除します。
- 2. ページブロックを選択し、「ボタン表示領域」を「非表示」に変更します。
- 3. 画面の一番上にあるセクションヘッダーを削除します。
- 4. 画面の下方に配置された紹介オブジェクトのデータテーブルを、ページブロックセクションごと削除します。「中に配置されたコンポーネントも含めて削除します。よろしいですか?」と表示されたら、[OK] をクリックします。
- 5. [情報]、[希望条件]、[職歴/学歴]、[スキル情報]、[その他] の各ページブロックセクションをそれぞれ選択し、プロパティ[折りたたみ表示有り]にチェックを入れます。
- 6. [情報] は初期状態で表示するのでそのままですが、[希望条件]、[職歴/学歴]、[スキル情報]、「その他] の各ページブロックセクションは「初期状態で折りたたむ」にチェックを入れます。
- 7. [職歴/学歴] のページブロックセクションを選択し、プロパティ [連動パネルグリッド] の […] をクリックします。画面が下記の様にマスクされた状態になりましたら、職歴が表示されているパネルグリッドを選択します。



この画面は、Lightning コンポーネント連携により渡されたレコード ID を受け取り、該当する人材レコードの情報を表示します。そのため、Lightning コンポーネント化し、レコード ID が受け取れるようにします。

- 1. ページプロパティの Lightning Component セクションを展開し、 [Lightning コンポーネントを出力する] を ON にします。
- 2. デプロイします。

デプロイ後、人材のレコード ID を指定し、画面を表示してみましょう。以下が編集した後の画面イメージです。

人材					
▼情報					
人材名	佐藤秀子	メール	yyy@skyvisualeditor.com	郵便番号	103-0027
誕生日	1975/08/07	南話		都道府県	東京都
性別	男性	携帯	090-0000-00000	市区郡	中央区
				町名番地	日本橋2-11-2
				ビル名等	
▶ 希望条件					
▶職歴/学歴					
▶ スキル情報					
▶その他					

図 29 : Studio で編集後にデプロイした画面イメージ (人材参照画面)

Tips:

◆ Lightning コンポーネント連携で値を受け取る場合、ページプロパティにある [URL パラメータの設定] で受け取る パラメータを設定しますが、レコード ID については、この設定をしなくても受け取ることができます。

求人案件参照画面の lightning コンポーネント化

求人案件参照画面も複製から始めます。

- 1. ファイルメニューの [開く] を選択します。
- 2. デザインページ選択で、Visualforce ページ名が [SVE_HRView] の画面を選択し、[開く] をクリックします。
- 3. 画面が表示された後、ファイルメニューの [別名保存] を選択します。
- 4. Visualforce ページ名に "SVE_HRViewLc" と入力します。
- 5. [OK] をクリックします。

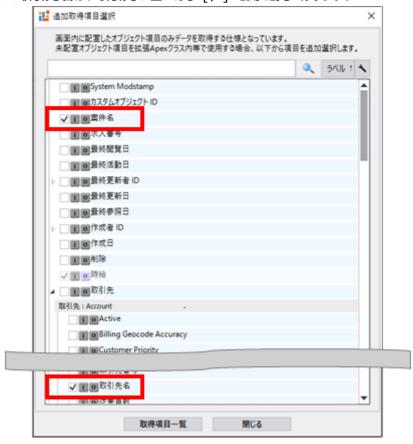
この画面でも不要なものを削除します。今回の画面の表示領域は小さくなるため、レイアウトも修正してコンパクトにわかりやすい画面になるようにします。

- 1. 画面の一番上にあるセクションヘッダー、「編集」、「削除」、「キャンセル」のボタンを削除します。
- 2. "求人案件"のページブロックを選択し、[ボタン表示領域] を [非表示] に変更します。
- 3. 画面の一番上にあるセクションヘッダーを削除します。
- 4. "詳細情報"のページブロックセクションの [取引先] と [案件名] を削除し、列数を4にします。
- 5. 「必要な資格」項目を追加した一番右の4列目に移動します。
- 6. "紹介"のページブロックセクションにあるデータテーブルを "求人案件"のページブロックの一番下 ("詳細情報"のページブロックセクションの下) に移動します。
- 7. "紹介"のページブロックセクションを削除します。

画面をコンパクトにするために取引先名と案件名を削除しましたが、どの取引先の情報なのか見えないため、分かりやすい画面とは言い難くなります。そこで、ページブロックセクションの [タイトル] にマージフィールドを使い、取引先名と案件名を表示させます。ただ、画面上に無い項目はマージフィールドで指定できません。そこで、「主オブジェクト項目 追加取得」でマージフィールドに指定したい項目を設定します。



- 1. 「ページ]タブを開き、「Apex クラス拡張」にある 「主オブジェクト項目 追加取得] をクリックします。
- 2. 追加取得項目選択で、"取引先.取引先名"と "案件名" にチェックを入れます。
 - ※取引先名は、取引先の左にある「▷〕を開くと見つかります。



- 3. [閉じる] をクリックし、追加取得項目選択を閉じます。
- 4. ページブロックセクションのプロパティ [タイトル] を "取引先: {!record.Account__r.Name} 案件名: {!record.Title__c}" に書き換えます。

Tips:

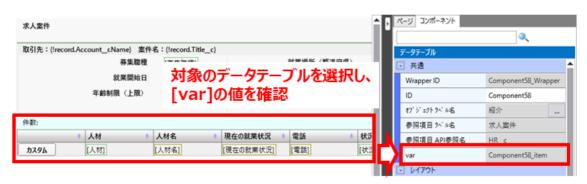
マージフィールドで参照先の親オブジェクトの項目を指定する場合、主オブジェクトにある参照項目の API 参照名 の" c"を" r"に置き換えてドットを付け、親オブジェクトの項目の API 参照名を指定します。

先ほど作成したコンポーネント(SVE_StaffViewLc)に人材の詳細情報を表示する設定も行います。詳 細情報を表示する人材は、データテーブルに表示された紹介オブジェクトのレコードから選択させるため、 選択するためのカスタムボタンを配置します。カスタムボタンを配置すると、データテーブルの横が長くなり横 スクロールバーが表示されて使いにくくなる可能性があるため、備考はデータテーブルからは削除します。

- [行削除] [選択削除] のチェックを外します。
- 画面の下方に配置された紹介オブジェクトのデータテーブルを下記の様に変更します。
 - 一番右の "備考" のヘッダー行を右クリックし、「削除] をクリックして "備考" を列ごと削除します。
 - 一番左の "人材" のヘッダー行を右クリックし、「列挿入] をクリックします。
 - コンポーネントペインから"カスタムボタン"を一番左の列に配置し、下記の様にします。



引き続き、データテーブルに配置したカスタムボタンを押した際、人材の詳細情報を表示させる設定を行 います。設定の途中、データテーブルの情報を指定する場所があるため、事前に上記のデータテーブルの プロパティから [var] の値を控えておきます。[var] は、データテーブルに表示された各行の値をマージフ ィールドで指定するときに使います。



また、渡すパラメータは人材レコードの ID ですが、これはデータテーブルの「人材」項目の値となります。こ の後で設定するときに「人材 I項目の API 参照名が必要となりますので、こちらも控えておきます。



1. データテーブルに配置したカスタムボタンを選択し、プロパティの値を下記の様に変更します。

值 :人材詳細

動作選択: Lightning コンポーネント連携

Lightning コンポーネント連携を選択した場合、下記のダイアログが表示されることがありますが、"はい"を選択してください。



- 2. [Lightning コンポーネント連携] のプロパティが表示されますので、[...] をクリックして Lightning コンポーネント連携設定を表示し、[イベント連携先ページ名] には "SVE_StaffViewLc" を記載します。
- 3. 送信パラメータに [Key] が "id" の行が無い場合、送信パラメータにある [追加] をクリックします。[Key] には "id" を、[Value] には "{!Component58_item.record.Staff__c}" を記載し、「OK] をクリックして [Lightning コンポーネント連携] のダイアログを閉じます。
 - ※上記の "Component58_item" は先に確認したデータテーブルの「var」の値を指定します。
 - ※"Staff__c" は人材項目の API 参照名を指定します。
- 4. [ページ] タブに切り替え、[Lightning Component] を開き [Lightning コンポーネントを出力する] にチェックを入れます。
 - ※ 1 のダイアログで "はい" を選択している場合、既にチェックされています。
- 5. デプロイします。

デプロイ後、求人案件のレコード ID を指定し、画面を表示してみましょう。以下が編集した後の画面イメージです。

求人案件																
取引先:株式会社	tテラス	カイ 案件名	: 5	ラスカイ様_	製品	品営業										
募集職種	秘書			就業場所(都道	府県	東京都			状況	要	と付		必要な資格	秘	書検定	
就業開始日	2020/01	1/06		就業	終了	日 2024/12/31			時給	¥	2,500					
年齢制限(上限) 件数:1	70			年齡制限(下限) 22			性別	Þ	7性					
		人材	•	人材名	•	現在の就業状況	•	電話 🛊	状況	•	紹介日	•	面談日	•	確定日	•
人材詳細		<u>佐藤秀子</u>		佐藤秀子		休職中			紹介前		2019/12/23		2019/12/23		2019/12/23	

図 30: Studio で編集後にデプロイした画面イメージ(求人案件参照画面)

求人案件検索画面の lightning コンポーネント化

求人案件検索画面も今まで同様、複製から始めます。

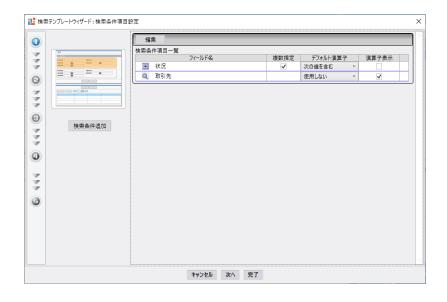
- 1. ファイルメニューの [開く] を選択します。
- 2. デザインページ選択で、Visualforce ページ名が [SVE_CandidateSearch] の画面を選択し、 「開く」をクリックします。
- 3. 画面が表示された後、ファイルメニューの [別名保存] を選択します。
- 4. Visualforce ページ名に "SVE_CandidateSearchLc" と入力します。
- 5. [OK] をクリックします。

検索画面の編集は、主にウィザードで行います。カスタムボタンなどの個々のコンポーネントの設定は、対象となるコンポーネントを選択してプロパティで設定します。まずはウィザードで設定を行います。

今回の検索は、どの取引先にどのような人材を紹介したのかを検索し、情報を表示させることを目的とした画面にしますので、検索条件や検索結果の項目は必要最低にし、検索画面も表示専用にします。

- 1. ウィザードメニューの [ウィザードに戻る] を選択します。
- 2. 検索条件項目設定で [編集] をクリックし、選択済みには "状況" と "求人案件.取引先" 以外を削除します。
- 3. [表示列数] を "1" に変更し、[OK] をクリックします。
- 4. "または"の下に設定されている検索条件は [削除] をクリックし、削除確認のダイアログが表示されましたら [はい] を選択し、検索条件を削除します。

次の画面のようになっていたら、検索条件項目の設定は完了です。[次へ] をクリックし、オブジェクトテーブル設定を行います。



- 1. [テーブル機能] にある [行削除] と [選択削除] のチェックを外します。
- 2. [テーブル選択種類] は "参照テーブル" を選択します。確認ダイアログは、[はい] を選択します。 ※先に参照テーブルに変更しますと、「テーブル機能]の設定ができなくなるため、先に「テーブル機 能]の設定を行います。
- 「次へ」をクリックし、検索結果項目設定を表示します。

検索結果項目設定は、先ほどのテーブル種類を "参照テーブル" に変えたことにより、項目はすべて削 除されています。ここでは、改めて必要な項目を設定します。

- 1. [カスタムボタン]をクリックして選択済みに設定します。
- 2. 未選択からは [求人案件] [求人案件.案件名] を ダブルクリックし、選択済みに設定します。 ※[求人案件.案件名] は、「求人案件」の左にある "▶" を開くと見つかります。
- 3. [完了] をクリックし、ウィザード画面を閉じます。

検索結果のデータテーブルに絞込条件が設定されていますが、この画面では不要ですので、こちらは削除 します。

- 1. 検索結果テーブルをクリックしてコンポーネントプロパティをアクティブにします。
- 2. [高度なテーブル機能] セクションの [絞込条件] の [...] をクリックします。
- 3. [検索条件] と [ソート条件] に設定された条件の [削除] をクリックして設定を削除します。
- 4. 「完了」をクリックし、テーブル設定ウィザードを閉じます。

引き続き、求人案件の詳細情報を表示させるための設定を行います。ここでも先ほど同様に Lightning コンポーネント連携を利用するため、検索結果のデータテーブルのプロパティから [var] の値を控えておき ます。また、渡すパラメータは求人案件レコードの ID ですので、「求人案件」項目の API 参照名も控え ておきます。

1. データテーブルに配置したカスタムボタンを選択し、プロパティの値を下記の様に変更します。

值 : 案件詳細

動作選択: Lightning コンポーネント連携

Lightning コンポーネント連携を選択した場合、下記のダイアログが表示されることがありますが、"はい"を選択してください。



- 2. [Lightningコンポーネント連携]のプロパティが表示されますので、[...] をクリックして Lightningコンポーネント連携設定を表示し、[イベント連携先ページ名] には "SVE_HRViewLc" を記載します。
- 3. 送信パラメータに [Key] が "id" の行が無い場合、送信パラメータにある[追加]をクリックします。 [Key] には "id" を、[Value] には "{!Component3_item.record.HR__c}" を記載し、 [OK]をクリックして [Lightning コンポーネント連携] のダイアログを閉じます。
 - ※上記の "Component3_item" は先に確認したデータテーブルの「var」の値を指定します。
 - ※"HR c" は求人案件項目の API 参照名を指定します。
- 4. [ページ] タブに切り替え、[Lightning Component] を開き [Lightning コンポーネントを出力する] にチェックを入れます。
 - ※ 1 のダイアログで "はい" を選択している場合、既にチェックされています。
- 5. デプロイします。

以下が編集後にデプロイした画面イメージです。



図 31: Studio で編集後にデプロイした画面イメージ(求人案件検索画面)

9. カスタムルックアップテンプレートによる画面の実装

所要時間: 15~30分

TS スタッフィング株式会社の以下要件を満たすために、さらなる実装を進めていきます。

- ・ 紹介レコード登録時の人材ルックアップ選択の際、人材の特定項目を検索条件にして求人にマッチ する人材を迅速に検索する。
- · 関連リストを画面遷移なく追加・編集・一括操作可能にする。

2 つめの要件は求人情報画面にデータテーブルを設置することで既に実装済みですが、複数の紹介レコードを一括で登録できるとより便利です。これらの要件は、SkyVisualEditor VF のカスタムルックアップテンプレートで実現が可能です。

カスタムルックアップテンプレートの特徴

カスタムルックアップテンプレートは、高度なルックアップ画面をウィザード形式で作成できるテンプレートです。 検索テンプレートの様に、複数の検索条件項目を設定できるため、Salesforce 標準のルックアップより高 度な検索を行うことができます。また、複数レコードをまとめて呼び出し元画面に設定することもできるため、 データテーブル 1 行ずつにルックアップの指定を行わず一括でレコードを登録することができるようになります。

ウィザードでの設定

はじめに、紹介レコード登録時の人材ルックアップ選択の際に起動するカスタムルックアップ画面(単一レコード選択画面)を作成します。

手順に従い作成いただくと、Studio 上では下図のような画面になります。



図 32 : 人材単一ルックアップ画面の Studio 上のイメージ

- 1. ファイルメニューの [新規] を選択します。
- 2. 「テンプレート」カスタムルックアップを選択します。



- 3. オブジェクトで "人材" を検索します。
- 4. Visualforce ページ名に "SVE_StaffLookupSingle" と入力します。
- 5. [OK] をクリックします。

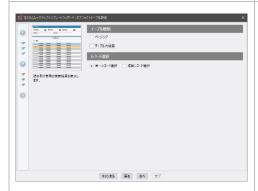
ここまで進むと、設定画面をウィザード形式で進めることができます。設定は以下の流れで行います。 操作の詳細はヘルプも併せてご確認ください。

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/J4le



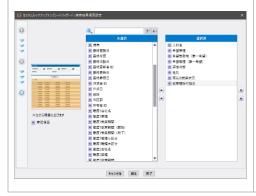
検索条件項目選択

選択リスト形式かテキスト形式で検索条件項目を配 置します。



オブジェクトテーブル設定

テーブル機能とレコード選択形式を設定します。



検索結果項目設定

検索結果テーブルに出力する項目を設定します。

では実際に設定を続けましょう。

1. 検索条件項目設定画面で、次の項目を選択します。

選択リスト形式:

希望業種、希望勤務地(第一希望)、希望職種(第一希望)、現在の就業状況、性別 テキスト形式:

人材名

- 2. 「次へ」をクリックします。
- 3. オブジェクトテーブル設定はデフォルトのまま(ページングなし、テーブル内検索なし、単一レコード選択)とし、「次へ」をクリックします。
- 4. 検索結果項目設定画面で、次の項目を選択します。人材名、希望業種、希望勤務地(第一希望)、希望職種(第一希望)、評価判定、性別、現在の就業状況、就業開始可能日
- 5. [完了] をクリックします。

ウィザード完了後の設定

カスタムルックアップテンプレートも検索テンプレート同様に、ウィザード完了後に各種設定をプロパティエリアから行うことができます。今回は LEX デザインの適用を行います。

LEX デザインの適用

検索画面同様に、カスタムルックアップ画面にも LEX デザインを適用します。

1. ページプロパティの [LEX デザイン] の "有効化" にチェックを入れます。

これで、カスタムルックアップ画面(単一レコード選択画面)の設定が完了しました。後ほど SVE_HREdit から呼び出す設定を行いますので、デプロイしておきます。

次に、複数レコードをまとめて呼び出し元画面に設定するカスタムルックアップ画面(複数レコード選択画面)を作成します。レコード選択形式以外は SVE_StaffLookupSingle と同じなので、別名保存機能を利用して作成を効率化します。

手順に従い作成いただくと、Studio 上では下図のような画面になります。





図 33 : 人材複数選択ルックアップ画面の Studio 上のイメージ

- 1. ファイルメニューの [別名保存] を選択します。
- 2. Visualforceページ名に "SVE_StaffLookupMulti" と入力します。
- 3. [OK] をクリックします。
- 4. ウィザードメニューの [ウィザードに戻る] を選択します。
- 5. 「次へ」をクリックします。
- 6. オブジェクトテーブル設定画面のレコード選択で、"複数レコード選択"に変更します。
- 7. 「完了」をクリックします。

以上でカスタムルックアップ画面(複数レコード選択画面)の設定が完了しました。こちらも後ほど SVE_HREdit から呼び出す設定を行いますので、デプロイしておきます。

呼び出し元画面の設定 1 (単一レコード選択画面)

カスタムルックアップ画面は Studio で作成した画面から呼び出す必要があります。作成した SVE_StaffLookupSingleをSVE_HREditから呼び出す設定を行いましょう。

- 1. SVE_HREdit を開きます。
- 2. 紹介データテーブル内に設置した人材の入力エリアをクリックします。
- 3. コンポーネントプロパティのルックアップ取得セクションから [カスタムルックアップ画面選択] をクリックし ます。
- 4. SVE_StaffLookupSingleを選択し、「OK」をクリックします。

呼び出し元画面の設定 2 (複数レコード選択画面)

複数レコード選択画面も単一レコード選択画面同様、SkyVisualEditor VF 画面から呼び出す必要 がありますが、設定方法は単一レコード選択画面と異なります。SVE_StaffLookupMulti を SVE HREdit から呼び出す設定を行い、その方法を学びましょう。



- 1. SVE_HREdit を開きます。(「呼び出し元画面の設定 1」から続けた場合、開き直しは不要で す。)
- 2. 紹介データテーブル ("件数"の横あたり)をクリックし、データテーブルを選択します。
- 3. コンポーネントプロパティのカスタムルックアップセクションの、[ルックアップ対象項目]で "人材: Staff c"を選択します。
- 4. 「カスタムルックアップ画面選択」が選択できるようになるので、SVE_StaffLookupMultiを選 択して [OK] をクリックします。

データテーブルの [選択削除] ボタンの右側に [マスター取得] ボタンが新しく設置されたことが確認でき ると思います。このボタンが、複数の人材を一括で紹介レコードに登録する機能を実現するものとなります。 実際に SVE_HREdit をデプロイして、挙動を確認してみてください。



チェックを入れた人材が紹介レコードに紐づいて追加された

10. Dashboard レイアウトによる画面の実装

所要時間: 40~60分

TS スタッフィング株式会社の要件で、マニュアルを見なくてもスムーズに操作できるよう、Salesforce 上に 手順を載せたいというものがありました。Dashboard レイアウトを使用すると、オブジェクトに依存しないコンポーネントを配置した画面を作成することができますので、こういった要件に最適です。

Dashboard レイアウトの特徴

Dashboard レイアウトは、表形式でのレコード表示や画像、AppComponent 等を 1 画面に配置した画面を作成することができます。Salesforce のホームタブに近いイメージです。

コンポーネントの配置

Dashboard レイアウトにコンポーネントを配置してマニュアル画面を作成する前に、TS スタッフィング株式 会社のオペレーションフローと関連するアクションをまとめておきましょう。

・電話、メール等で受け付けた人材をSalesforceに登録します。
 ・関連するアクション:「人材」オブジェクトにレコードを登録
 ・取引先から受領した求人案件情報をSalesforceに登録します。
 ・関連するアクション:「求人案件」オブジェクトにレコードを登録
 ・求人案件にマッチする人材を検索し、マッチング登録します。
 ・関連するアクション:「紹介」オブジェクトにレコードを登録
 ・マッチング登録した人材を取引先に紹介します。
 ・関連するアクション:「スキルシート」の出力、「紹介」オブジェクトのステータス更新
 ・人材の採用決定もしくは紹介期間の終了を持って、求人案件をクローズします。
 ・関連するアクション:「求人案件」オブジェクトのステータス更新

上記のフロー図を Dashboard レイアウトで画面化し、クリックすると次のアクションに最適な画面へ遷移するリンクと、必要なレコードを表示するリストを実装します。

手順に従い作成いただくと、Studio 上では下図のような画面になります。



図 34 : マニュアル画面の Studio 上のイメージ

- 1. ファイルメニューの [新規] を選択します。
- 2. レイアウトマネージャから [Dashboard レイアウト] を選択します。
- 3. Visualforce ページ名に "SVE_Manua1" と入力します。
- 4. [OK] をクリックします。
- 5. Dashboard レイアウトのテンプレート選択画面が起動します。こちらではフレキシブルパネルのレイア ウトを選択します。デフォルトの 2 列のまま [OK] をクリックします。

Tips:

フレキシブルパネルは Dashboard レイアウトで複数のコンポーネントを複数列に配置するための下地に利用するコン ポーネントです。詳細はヘルプを参照してください。

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/ZRhY

上記まで進めると、フレキシブルパネルが 1 つ配置された状態でデザインキャンバスが開きます。ここに、パ ネルグリッドや画像データ、データテーブルを使用してマニュアル画面をデザインしていきます。

まずは、フレキシブルパネルの 1 列目にフローを画像で並べて手順をカスタムリンクと自由テキストで記載します。

- 1. コンポーネントペインからパネルグリッドをフレキシブルパネルの1列目にドラッグ&ドロップします。
- 2. 行数を "5"、列数を "2" に変更して、[OK] をクリックします。
- パネルグリッドを選択した状態でコンポーネントプロパティを表示し、レイアウトセクションにある[ページ幅に合わせる]を有効にします。
- 4. コンポーネントペインから画像をパネルグリッドの1行1列目にドラッグ&ドロップします。
- 5. 静的リソースで "step1 entrystaff" を選択し、 [OK] をクリックします。
- 6. [開く] をクリックします。
- 7. 同様に、パネルグリッドの1列目に残りの画像を配置します。

2 行目: step2_entryhr

3行目: step3_matching

4行目: step4_candidate

5行目: step5 close

- 8. コンポーネントペインからカスタムリンクをパネルグリッドの2列1行目にドラッグ&ドロップします。
- 9. コンポーネントプロパティの [値] を "電話、メール等で受け付けた人材を Salesforce に登録します。" に変更します。
- 10. [遷移先設定] をクリックし、"Visualforce ページへ"を選択して確認ダイアログで [OK] をクリックします。
- 11. プルダウンから "SVE_StaffEdit" を選択します。
- 12. [完了] をクリックします。
- 13. 同様に、2 行 2 列目にもカスタムリンクを配置します。 [値] は "取引先から受領した求人案件情報を Salesforce に登録します。" とし、 [遷移先設定] の Visualforce ページ名は "SVE_HREdit" としてください。
- 14. コンポーネントペインから自由テキストを3行2列目にドラッグ&ドロップします。
- 15. 自由テキストの値を "求人案件にマッチする人材を検索し、マッチング登録します。" に修正します。
- 16. 同様に、パネルグリッドの2列目に残りの自由テキストを配置します。

4行目: マッチング登録した人材を取引先に紹介します。

5行目: 人材の採用決定もしくは紹介期間の終了を以って、求人案件をクローズします。

- 17. バネルグリッド全体を選択し、「線種」を "無し" にします。
- 18. 全てのセルを選択し、「線種」を"無し"にします。
- 19. 行の高さと幅を調整します。

次に、フレキシブルパネルの2列目にデータテーブルを並べます。

- 1. フレキシブルパネルの 2 列目ににページブロックを配置し、タイトルを "受付中求人案件一覧" に変更します。
- 2. [表示モード] を "maindetail" に、「ボタン表示領域] を "非表示" にします。
- 3. データテーブルをページブロック内に配置します。
- 4. オブジェクトで "求人案件" を選択し、 [OK] をクリックします。
- 5. オブジェクトタブをクリックし、関連オブジェクトで"求人案件"を選択します。
- 6. 求人番号、取引先、案件名をデータテーブルに配置します。
- 7. データテーブルの絞込条件に"状況が受付と一致する"検索条件を設定します。
- 8. データテーブルの "求人番号" 表示項目をクリックし、 [下線] と [リンクとして表示] [リンクを別ウインドウで開く] を ON にします。
- 9. 受付中求人案件一覧の下にページブロックを配置し、タイトルを "紹介前マッチング一覧" に変更します。
- 10. [表示モード] を "maindetail" に、 [ボタン表示領域] を "非表示" にします。
- 11. データテーブルをページブロック内に配置します。
- 12. オブジェクトで "紹介" を選択し、 [OK] をクリックします。
- 13. オブジェクトタブをクリックし、関連オブジェクトで "紹介" を選択します。
- 14. 紹介番号、求人案件、人材をデータテーブルに配置します。
- 15. データテーブルの絞込条件に"状況が紹介前と一致する"と、"作成者 ID のユーザーID が {UserId}と一致する"検索条件を設定します。
- 16. データテーブルの "紹介番号" 表示項目をクリックし、 [下線] と [リンクとして表示] [リンクを別ウインドウで開く] を ON にします。
- 17. 紹介前マッチング一覧の下にページブロックを配置し、タイトルを "未完了求人案件一覧" に変更します。
- 18. [表示モード] を "maindetail" に、 [ボタン表示領域] を "非表示" にします。
- 19. データテーブルをページブロック内に配置します。
- 20. オブジェクトで "求人案件" を選択し、「OK] をクリックします。
- 21. オブジェクトタブをクリックし、関連オブジェクトで"求人案件"を選択します。
- 22. 求人番号、案件名、状況をデータテーブルに配置します。
- 23. データテーブルの絞込条件に"状況が成立と不成立を含まない"検索条件を設定します。
- 24. データテーブルの "求人番号" 表示項目をクリックし、 [下線] と [リンクとして表示] [リンクを別ウインドウで開く] を ON にします。

最後にページタイトルを設定し、デプロイして完成させましょう。

- 1. ページプロパティの [ページタイトル] に "マニュアル" と入力します。
- 2. デプロイします。





受付中求人案件一覧 件数:0 求人番号 案件名 **紹介前マッ**チング一覧 件数♡ 紹介番号 求人案件 人材 未完了求人案件一覧 8 4 1/1 9 8 5 ▼ 件数2 ⇒ 状況 マッチング中 マッチング中

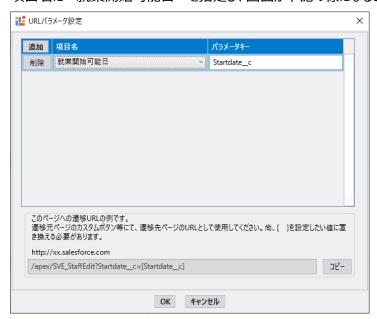
図 35 : 完成イメージ (マニュアル画面)

URL パラメータ設定によるデフォルト値の設定

フレキシブルパネルの左に配置した人材登録画面を開くカスタムリンクをクリックしますと、何も入力されていない新規レコード登録の画面が表示されます。整理した要件に、「親子情報を一括で登録・編集し、作業効率を上げたい」というものがありますが、予め設定したい値が入力値として設定されていると作業効率の向上につながります。そこで、人材登録画面を開いたとき、就業開始可能日に本日から 1 か月後の日付が設定されてされるようにします。

これを実現するには「URL パラメータ設定」を利用し、リンクに設定された値を受け取り、画面上に配置された項目に設定されるようにします。

- 1. ファイルメニューの [開く] から "SVE_StaffEdit" を開きます。
- 2. ページプロパティを表示し、URL パラメータ設定の [設定] ボタンをクリックし、URL パラメータ設定 画面を開きます。
- 3. 項目名に"就業開始可能日"を指定し、画面が下記の様になることを確認します。



- 4. パラメーターキーの値 "Startdate c" をメモしておき、[OK] をクリックします。
- 5. デプロイします。

次にデフォルトで設定する値をカスタムリンクに URL パラメータとして記述します。

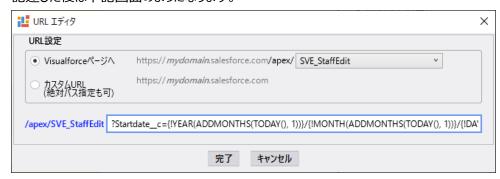
- 1. ファイルメニューの [開く] から "SVE_Manual" を開きます。
- 2. 人材登録画面(SVE_StaffEdit)を表示するカスタムリンクをクリックし、コンポーネントプロパティを表示します。
- 3. 遷移先設定の [...] をクリックし、URL エディタを表示します。

4. 先ほどメモした "Startdate__c" を利用した下記の URL パラメータを記述します。

?Startdate__c={!YEAR(ADDMONTHS(TODAY(),

- 1))}/{!MONTH(ADDMONTHS(TODAY(),
- 1))}/{!DAY(ADDMONTHS(TODAY(), 1))}

記述した後は下記画面のようになります。



5. [完了] クリックして URL エディタを閉じ、デプロイします。

Tips:

マージフィールドでは、下記の様に Visualforce で定義されている関数を使うことができます。 下記の場合、今日の日付に 1 か月を加え、年の部分のみをテキストとして表示します。 {!YEAR(ADDMONTHS(TODAY(), 1))}



図 36: URL パラメータで設定した値をデフォルト値として表示

11. デプロイ後に行う Salesforce の設定

所要時間: 20~30分

Studio で画面を作成したら、実際にユーザーが利用しやすいように呼び出し設定を行います。Classic UI では呼び出す方法は主に以下の 3 つでした。

- ・ URL を直接指定する(カスタムリンク等から呼び出す)
- ボタン/リンクを上書きする
- · Visualforce タブを作成する

Lightning Experience では以下の 2 つの方法が加わり、さらに多くのパターンで利用可能になりました。

- ・ クイックアクション
- · Lightning アプリケーションビルダーの Visualforce コンポーネント
- ・ Lightning アプリケーションビルダーのカスタムコンポーネント(lightning コンポーネントを出力した場合)

本書では扱いませんが、Studio で作成した画面はユーティリティバーでも利用が可能です。

画面の特性に合わせた呼び出し方法を選択することで、ユーザービリティの高いアプリケーション作成を目指します。

ボタン/リンクの上書き	· SVE_HREdit
	· SVE_StaffEdit
Lightning アプリケーションビルダーの	· SVE_HRView
Visualforce コンポーネント	· SVE_StaffView
	· SVE_Manual
Lightning アプリケーションビルダーのカスタムコン	· SVE_CandidateSearchLc
ポーネント	· SVE_HRViewLc
	· SVE_StaffViewLc
クイックアクション	· SVE_Skillsheet
Visualforce タブの作成	· SVE_CandidateSearch

Tips:

◆ SkyVisualEditor VF 画面上の保存ボタン押下後(レコードの新規作成/編集時)及び削除ボタン押下後(レコードの削除時)の遷移先画面を個別指定したい場合は、ページプロパティの「画面遷移先設定」で実装が可能です。

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/gRJX

画面呼び出し設定(ボタン/リンクの上書き)

まずは、求人案件レコードのボタン/リンクをクリックした際に SVE_HREdit を開く設定を行います。

- 1. Salesforce の設定画面を開きます。
- 2. [オブジェクトマネージャ] を表示します。
- 3. [クイック検索] に "求人案件" と入力します。
- 4. "求人案件"をクリックします。
- 5. "ボタン、リンク、およびアクション"をクリックします。
- 6. "新規"の編集リンクをクリックします。
- 7. [Salesforce Classic の上書き] で Visualforce ページをチェックし、"SVE_HREdit" を選択します。
- 8. [保存] をクリックします。
- 9. 同様に、"編集" を "SVE HREdit" で上書きします。

これで、求人案件の画面呼び出し設定は完了です。同じ手順で人材の画面呼び出し設定を行いましょう。

- 1. Salesforce の設定画面を開きます。
- 2. 「オブジェクトマネージャ」を表示します。
- 3. [クイック検索] に "人材" と入力します。
- 4. "人材"をクリックします。
- 5. "ボタン、リンク、およびアクション"をクリックします。
- 6. "新規"の編集リンクをクリックします。
- 7. [上書き手段] で Visualforce ページをチェックし、"SVE_StaffEdit" を選択します。
- 8. 「保存」をクリックします。
- 9. 同様に、"編集" を "SVE_StaffEdit" で上書きします。

画面呼び出し設定(Lightning アプリケーションビルダーの Visualforce コン ポーネント)

レコードの参照画面は、Lightning の特性を生かした画面にするため、Lightning アプリケーションビルダ ーで強調表示パネルやパスも活用し、詳細は Visualforce コンポーネントで表示させます。

まずは、人材のレコードページを編集します。

- Salesforce の設定画面を開きます。
- 2. 「クイック検索] に "アプリケーションビルダー" と入力します。
- 3. "Lightning アプリケーションビルダー" をクリックします。
- 4. 「新規〕をクリックします。
- 5. 表示されたダイアログで"レコードページ"を選択し、「次へ]をクリックします。
- 6. [表示ラベル]には"人材"と入力し、[オブジェクト]には"人材"を選択し、[次へ]をクリックします。
- 7. 「ページテンプレートを選択]を表示し、"グループ化ヘッダーと 1 つの範囲"を選択し、「完了]をクリック します。
- 8. 下記のような Lightning アプリケーションビルダーの画面が表示されますので、Lightning コンポー ネントペインから"強調表示パネル"を上の段に、"タブ"を下の段にドラッグ&ドロップで配置します。



- 9. 配置したタブを選択し、プロパティの[デフォルトタブ]を"詳細"にします。
- 10. プロパティの[タブ]にある"関連"をクリックし、[タブの表示ラベル]を"活動"に変更し、[完了]をクリック します。
- 11. 配置したタブは、プレビュー上でタブが選択できます。「活動」タブを選択し、Lightning コンポーネン トペインから"活動"をドラッグ&ドロップで配置します。
- 12. 同様に、「詳細]タブを選択し、Lightning コンポーネントペインから"Visualforce"をドラッグ&ドロ ップで配置します。

13. Visualforce のプロパティの各項目について、以下のように設定します。

表示ラベルの表示: チェックを外す

Visualforce ページ名: SVE StaffView

14. 右上の [保存] をクリックします。

新規に Lightning アプリケーションビルダーで作成した画面は、有効化することで表示できます。保存を行いますと、ダイアログが表示されて有効化ができるようになっていますので、このまま作業を続けます。もし、ダイアログが表示されなかった場合は、Lightning アプリケーションビルダーの右上に[有効化]のボタンがありますので、こちらをクリックしてください。

- 1. 「有効化」をクリックします。
- 2. [組織のデフォルトとして割り当て]をクリックします。
- 3. [フォーム要素を割り当て]の画面が表示されますので、"デスクトップ"を選択して[次へ]をクリックします。
- 4. [割り当てを確認]の画面が表示されますので、[保存]をクリックします。
- 5. Lightning アプリケーションビルダーの画面が表示されますので、左上の「←」をクリックしてください。

これで人材オブジェクトのレコードページが変更できましたので、人材オブジェクトのレコードページを表示して画面を確認してみてください。画面が変わっていない場合は、ブラウザをリロードすると変更が反映されます。

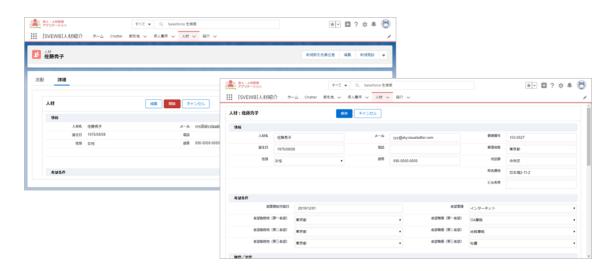


図 37 :完成イメージ(左:参照画面 右:編集画面)

次に、求人案件のレコードページを編集します。求人案件は、あらかじめ Lightning ページを用意していますので、これを編集していきます。

- 1. Salesforce の設定画面を開きます。
- 2. 「クイック検索] に "アプリケーションビルダー" と入力します。
- 3. "Lightning アプリケーションビルダー" をクリックします。
- 4. "求人案件 レコードページ"の [編集] をクリックします。
- 5. プレビューに表示された詳細コンポーネントを選択し、右上のごみ箱アイコン、もしくは Delete キーを 押して削除します。



- 6. 削除した場所に Lightning コンポーネントペインから"Visualforce"をドラッグ&ドロップで配置しま
- 7. Visualforce のプロパティの各項目について、以下のように設定します。

表示ラベルの表示: チェックを外す

Visualforce ページ名: SVE_HRView

- 8. 右上の [保存] をクリックします。
- 9. 「有効化]をクリックします。
- 10. [組織のデフォルトとして割り当て]をクリックします。
 - ※「組織のデフォルトとして削除」のボタンが出ている場合は割り当てが完了していますので、10~ 12の手順は実施不要です。
- 11. [フォーム要素を割り当て]の画面が表示されますので、"デスクトップ"を選択して「次へ]をクリックしま
- 12. [割り当てを確認]の画面が表示されますので、[保存]をクリックします。

求人案件には、「状況]項目がありますので、レコードの状況が一目でわかる「パス]のコンポーネントを配 置しています。Lightning にはこのように Classic ではない機能も利用できますので、活用してみてくださ い。

Tips:

◆ Lightning アプリケーションビルダーには、他にも様々なコンポーネントが配置できます。また、コンポーネント単位で条件に応じた表示制御も行えますので、詳細は下記の URL の情報もご参考ください。

https://help.salesforce.com/articleView?id=lightning_app_builder_overview.htm&type=5

Lightning アプリケーションビルダーは表示しているページから起動することもできます。マニュアル画面はホーム画面を表示した状態から Lightning アプリケーションビルダーを起動し、編集してみましょう。

- 1. アプリケーションランチャーから「「SVEWB]人材紹介」アプリをクリックします。
- 2. ナビゲーションバーから[ホーム]をクリックします。
- 3. 画面右上の"設定"にある[編集ページ]をクリックします。



- 4. プレビューに表示されているコンポーネントをすべて削除します。
- 5. Lightning コンポーネントペインから"Visualforce"をドラッグ&ドロップでプレビュー画面上の左側 に配置します。
- 6. Visualforce のプロパティの各項目について、以下のように設定します。

表示ラベルの表示: チェックを外す

Visualforce ページ名: SVE_Manual

高さ: 550

- 7. 同様に"今日の行動"、"今日の ToDo"をプレビュー画面上の右側に配置します。
- 8. 右上の [保存] をクリックします。
- 9. ダイアログが表示されますので[有効化]をクリックします。
- 10. [組織のデフォルトとして割り当て]をクリックします。
- 11. 確認内容が表示されますので、「保存」をクリックします。

ホーム画面に戻りますと、以下のような画面が表示されます。





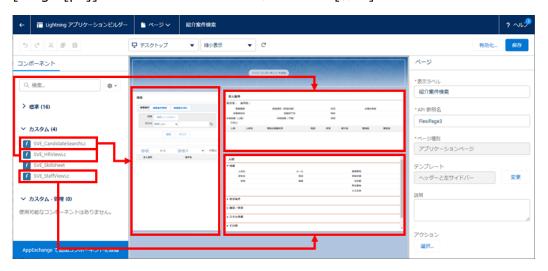
図 38 : 完成イメージ

画面呼び出し設定(Lightning アプリケーションビルダーのカスタムコンポーネント)

アプリケーションビルダーで作成した画面は、Lightning ページタブで表示することもできます。Lightning ページタブで表示するには、アプリケーションページとして画面を作成する必要があります。

それでは、Lightning アプリケーションビルダーを起動し、作成してみましょう。

- 1. Salesforce の設定画面を開きます。
- 2. 「クイック検索] に "アプリケーションビルダー" と入力します。
- 3. "Lightning アプリケーションビルダー" をクリックします。
- 4. 「新規〕をクリックします。
- 5. 表示されたダイアログで"アプリケーションページ"を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6. [表示ラベル] には"紹介人材検索"と入力し、[次へ] をクリックします。
- 7. "ヘッダーと左サイドバー"を選択し、「完了]をクリックします。
- 8. 左にあるコンポーネントペインの [カスタム] から "SVE_CandidateSearchLc" を左サイドバーに、"SVE_HRViewLc" を右のメインに、 "SVE_StaffViewLc" を "SVE_HRViewLc" の下にドラッグアンドドロップで配置します。
- 9. 配置した "SVE_CandidateSearchLc" をクリックし、[Height[px]] を "700" にします。同様に、"SVE_ HRViewLc" の [Height[px]] を "290" にし、"SVE_StaffViewLc" の [Height[px]] を "380" にします。下記の様になったら [保存] をクリックします。



- 10. ダイアログが表示されますので[有効化]をクリックします。
- 11. 有効化に伴うページ設定が表示されます。タブを [LIGHTNING EXPERIENCE] に切り替え、 左の[Lightning アプリケーションに追加] で "[SVEWB]人材紹介" を選択し、[アプリケーション にページを追加] をクリックし、"紹介人材検索" があることを確認して [保存] をクリックします。
- 12. 左上の [←] をクリックしてアプリケーションビルダーを閉じます。

配置したアプリケーションページがどのように表示されるのか確認してみましょう。

アプリケーションランチャーから「[SVEWB]人材紹介」アプリをクリックし、「紹介人材検索」のタブを表示してみましょう。

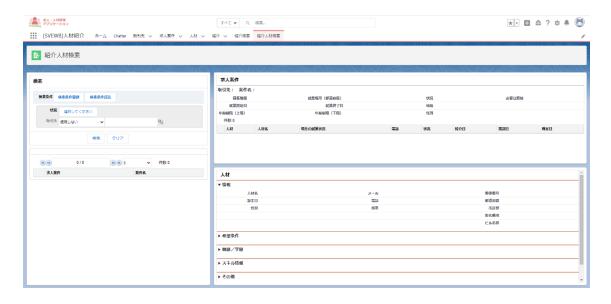


図 39 : 完成イメージ

左の検索画面で検索した結果の一覧にある「案件詳細」をクリックすると、右上の求人案件に案件詳細が表示され、データテーブルにある「人材詳細」をクリックすると右下の人材詳細情報が表示されます。人材詳細では、折りたたまれているセクションを開くことで各種情報がさらに表示されます。

画面呼び出し設定(クイックアクション)

自由レイアウトで作成した PDF 画面 "SVE_Skillsheet" を人材の参照画面から出力するためのクイックアクションを作成し、人材参照画面に設定します。

- 1. Salesforce の設定画面を開きます。
- 2. [オブジェクトマネージャ] を表示します。
- 3. [クイック検索] に "人材" と入力します。
- 4. "人材"をクリックします。
- 5. "ボタン、リンク、およびアクション"をクリックします。
- 6. "新規アクション"をクリックします。
- 7. 各項目にについて、以下のように設定します。

アクション種別: Lightning コンポーネント

Lightning コンポーネント: c:SVE_Skillsheet

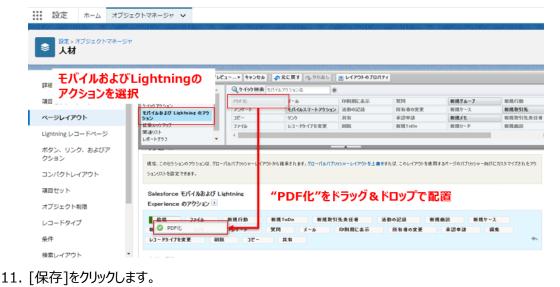
高さ: 500

表示ラベル: PDF化 名前: Skillsheet PDF

8. [保存]をクリックします。

引き続き、ページレイアウトの設定を行います。作成したアクションはページレイアウトエディタで配置するこ とで、レコードページに表示されます。

- 1. Salesforce の設定画面を開きます。
- 2. [オブジェクトマネージャ] を表示します。
- 3. [クイック検索] に "人材" と入力します。
- 4. "人材"をクリックします。
- 5. "ページレイアウト"をクリックします。
- 6. "人材レイアウト"をクリックします。
- 7. 表示されたページレイアウトエディタを少し下にスクロールし、"Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション"のセクションを表示します。
- 8. 「定義済みアクションを上書き]という文言がリンクになっているので、これをクリックしてアクションが編集 できるようにします。
- 9. 画面上部のパレットで"モバイルおよび Lightning のアクション"をクリックします。
- 10. 先ほど作成した"PDF 化"をドラッグ&ドロップで"Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション"のセクションに配置します。場所は一番左上に配置してください。



配置したアクションからどのように PDF 化した画面が表示されるのか確認してみましょう。





図 40 : 完成イメージ

クイックアクションでは Visualforce を表示させることもできますが、アクション名、保存ボタン、キャンセルボ タンが表示されます。今回、これらは不要なので Lightning コンポーネントを利用しました。

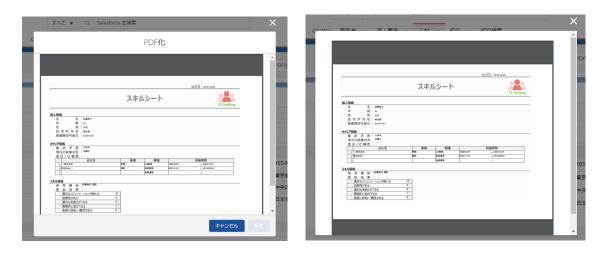


図 41 : PDF 化画面の比較(左: Visaulforce 右: Lightning コンポーネント)

画面呼び出し設定(Visualforce タブ)

検索画面はレコードを特定せずに開く画面のため、Visualforce タブから呼び出す方法が最適です。 SVE_CandidateSearch を Visualforce タブに設定しましょう。

- 1. Salesforce の設定画面を開きます。
- 2. [クイック検索] に "タブ" と入力します。
- 3. "タブ"をクリックします。
- 4. Visualforce タブの 「新規」をクリックします。
- 5. Visualforce ページで "SVE_CandidateSearch" を選択します。
- 6. タブの表示ラベルに "紹介検索" と入力します。
- 7. タブ名に "SVE_CandidateSearch" と入力します。
- 8. タブスタイルで"望遠鏡"を選択します。
- 9. 「次へ」をクリックします。
- 10. プロファイルの設定は変更せず、「次へ」をクリックします。
- 11. [SVEWB]人材紹介アプリケーションにタブを含めるチェックを入れ、[保存] をクリックします。

これで、「紹介検索」というタブから SVE_CandidateSearch を呼び出す設定が完了しました。早速タブをクリックして動作検証してみたいところですが、ナビゲーションバーにタブが表示されていません。ナビゲーションバーに Visaulforce タブを表示するにはアプリケーションに表示するタブとして含める必要があります。

- 1. Salesforce の設定画面を開きます。
- 2. 「クイック検索] に "アプリケーションマネージャ" と入力します。
- 3. "アプリケーションマネージャ"をクリックします。
- 4. "[SVEWB]人材紹介"の行の右にある[▼]をクリックして[編集]を選択します。
 - ※"[SVEWB]人材紹介 Classic"ではありませんのでご注意ください。
- 5. 左の設定から[ナビゲーション項目]をクリックします。
- 6. "選択可能な項目"から"紹介検索"を選択し、「▶]をクリックして"選択済みの項目"に入れます。
- 7. 画面下の [保存] をクリックします。



図 42 : タブ設定後のイメージ

Visualforce ページ、Apex クラスへのアクセス有効化

SkyVisualEditor VFの画面を構成する Visualforce ページと Apex クラスは、プロファイルにてアクセスが有効化されていないと利用することができません。 Studio で Salesforce に接続し、画面をデプロイしたユーザーが所属するプロファイルには自動でアクセスが有効化されますが、それ以外のプロファイルには手動で設定する必要があります。 実際のプロジェクトでは、 SkyVisualEditor VFの画面にアクセスするユーザーが属するプロファイル全てに設定を行って下さい。

設定方法はヘルプを参照してください。

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/KhdY

12. より便利に利用いただくために

所要時間: 20~25分

SkyVisualEditor VF には前章までで学習した機能の他にもより便利に利用するための機能があります。この章では、ルックアップ時に任意の項目値を取得する機能と 3 つのテンプレート、AppComponent について紹介します。さらに、インストールしてすぐに利用できる「SkyVisualEditor 標準 AppComponent」の利用方法を学びます。

ルックアップ時に任意の項目値を取得する機能(ルックアップ設定)

ルックアップ設定を行うと、ルックアップ実行時(いをクリックして親レコードを選択した時)に、親レコードから Name 項目以外の項目値を取得できる機能です。例えば、求人案件の編集画面で取引先をルックアップした際に、取引先名以外に「取引先業種」項目の値を求人案件にコピーするといった利用方法が出来ます。その場合、求人案件にも「業種」項目を予め用意しておく必要があります。

ルックアップ設定の詳細はヘルプを参照してください。

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/lxtZ

ウィザード画面テンプレート

ウィザード画面テンプレートは、A ページ、B ページ、C ページ…と複数ページに入力項目を分けて画面を表示し、最後に確認画面にて入力値を確認した後にデータを保存するようなウィザード形式の画面を作成することができるテンプレートです。 資料請求フォームやアンケートサイトなどに適しています。 TS スタッフィング株式会社の人材紹介業務では、求職者がセルフ登録するサイトの画面への適用が提案できます。

ウィザード画面テンプレートの詳細はヘルプを参照してください。

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/AQde

ページ割り当てテンプレート

ページ割り当てテンプレートは、プロファイル・レコードタイプごとに表示するページを割り当てるための画面を 作成することができるテンプレートです。例えば、プロファイル A に属するユーザーは SkyVisualEditor VF 画面を利用し、プロファイル B に属するユーザーは標準レイアウトを利用するといった割り当てが可能です。

ページ割り当てテンプレートの詳細はヘルプを参照してください。

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/MAde

Lightning では、Lightning アプリケーションビルダーの動的 Lightning ページの機能を利用いただくことで、同様の表示を実現できます。

https://help.salesforce.com/articleView?id=lightning_page_components_visibility. htm&type=5

親子登録テンプレート

親子登録テンプレートは親・子オブジェクトのレコードを同時登録・編集可能な画面をウィザード形式で作成できるテンプレートです。Salesforce レイアウトや自由レイアウトで作成するよりもスピーディに画面作成が可能です。ただし、親子登録テンプレートには次項で説明する AppComponent の配置ができないので、AppComponent の要件が発生した場合は Salesforce レイアウトや自由レイアウトへの切り替えが必要です。

親子登録テンプレートの詳細はヘルプを参照してください。

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/1RVY

AppComponent

AppComponent とは、SkyVisualEditor VF の画面上に組み込み可能なアプリケーションです。 AppComponent の利用可能パターンを以下に示します。

Salesforce 内のデータや機能の利用	SOQLやSOSLを使用して、画面表示している主オブジェクトに関係のない情報を取得する。 作成したレポート、ダッシュボードを画面に表示する
外部との連携	API が公開されている外部サービス(GoogleMapや Twitter など)を画面に表示する 自社サービスなど外部サーバと連携する
既存の部品との連携	SkyVisualEditor VFの既存コンポーネントであるテーブル内のデータを一括変換するボタンを作成する独自の JavaScript によるバリデーション処理を実施する 郵便番号からの住所検索機能(郵便番号項目入力時に住所項目に自動設定)を実装する

利用方法は以下の3つがあります。

- · 独自の AppComponent を開発し、画面に組み込んで利用する。
- ・ テラスカイの提供する SkyVisualEditor 標準 AppComponent を画面に組み込んで利用する。
- · パートナーの提供する AppComponent を画面に組み込んで利用する。

作成した SVE_StaffEdit には住所を入力する項目があります。この画面に、郵便番号から住所を検 索して補完する SkyVisualEditor 標準 AppComponent「住所補完」を適用してみましょう。

はじめに、DE 組織に SkyVisualEditor 標準 AppComponent をインストールします。

- 1. SkyVisualEditor 標準 AppComponent インストールサイトにアクセスします。 https://info.skyvisualeditor.com/developer/appcomponent/005
- 2. 「パッケージインストール」をクリックします。
- 3. 「すべてのユーザーのインストール」を選択し、「インストール」ボタンをクリックします。

Salesforce の重要な更新「Visualforce ドメインから静的リソースを提供」が有効化されている組織に おいては、郵便番号データファイルを静的リソースに格納しておく必要があります。(重要な更新に 「Visualforce ドメインから静的リソースを提供」が表示されていない組織では既に機能が有効化されて います。)

- 1. 郵便番号データファイルを以下 URL から取得します。 https://s3.amazonaws.com/www.skyvisualeditor.com/AppComponent/SkyVis ualEditor/ZipCode/zipcode.zip
- 2. 取得した ZIP ファイルを静的リソースに名前 "zipcode" で格納します。

次に、SVE_StaffEdit に AppComponent を組み込みます。

- 1. SVE_StaffEdit を開きます。
- 2. コンポーネントペインの AppComponent セクションに表示された [SkyVisualEditor] の三角マ ークをクリックして展開します。(表示されていない場合はツールメニューの [オブジェクト再取得] を 実行してください。)
- 3. [住所補完(日本)] をキャンバスペインにドラッグ&ドロップします。配置場所は問いません。
- 4. 配置したコンポーネントをクリックし、コンポーネントプロパティの「郵便番号リソース名」に "zipcode" と入力します。
- 5. 「郵便番号 項目 ID」のボタンをクリックすると、画面がブルーになります。この状態で、画面上の郵 便番号入力項目をクリックします。
- 6. [都道府県 項目 ID] のボタンをクリックし、都道府県入力項目をクリックします。
- 7. 「市区町村 項目 ID」のボタンをクリックし、市区郡入力項目をクリックします。
- 8. [町域 項目 ID] のボタンをクリックし、町名番地入力項目をクリックします。

以上で住所補完 AppComponent の組み込みは完了です。デプロイして動作確認してみてください。

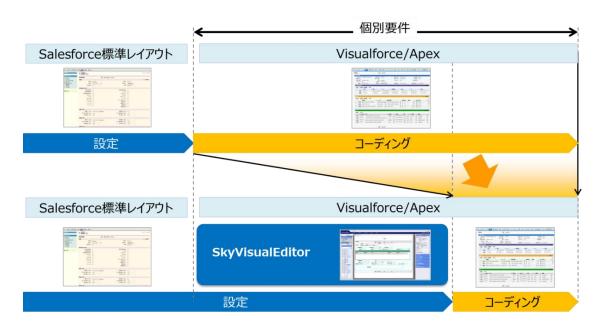
П	

	郵便番号	103
	都道府県	103-0000 東京都中央区
		103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
	市区郡	103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町
	町名番地	103-0003 東京都中央区日本橋横山町
	PHAC	103-0004 東京都中央区東日本橋
	ビル名等	103-0005 東京都中央区日本橋久松町
		103-0006 東京都中央区日本橋富沢町
		103-0007 東京都中央区日本橋浜町
^重 インターネット	103-0008 東京都中央区日本橋中洲	
	103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町	
(DA事務	103-0012 東京都中央区日本橋堀留町
		103-0013 東京都中央区日本橋人形町
	0.76 ± 76	

図 43 : 完成イメージ(住所補完 AppComponent を適用した画面)

13. 高度なカスタマイズ

SkyVisualEditor VF の標準機能では実現できないような処理や既存のプログラムを画面に組み込みたい場合、JavaScript 機能と Apex クラス拡張機能を利用し、標準機能 + コーディングで開発を行うことができます。個別要件が発生したからといってすべてをコーディング開発に切り替えるより効率的かつメンテナンス性高く開発を行うことが可能です。



JavaScript 機能

標準機能で実現できない要件が発生した際、クライアントサイドの処理を行いたい場合に JavaScript 機能の利用を検討します。項目をクリックしたり値を変更したりした時に画面を再読み込みすることなく実行する処理を組み込みたい場合に JavaScript 機能を利用します。また、Lightning では Javascript のボタンが使えなくなりましたが、SkyVisualEditor VF では画面内に Javascript のボタンを組み込むことができます。

JavaScript の組み込みは、ページプロパティの「ページスクリプト」に記載する方法と、外部 JavaScript をインクルードする方法があります。サンプルスクリプトはスクリプトエディタ内で確認できます。

使用例:

```
Visualforce ページ A にオブジェクト B をデータテーブルで配置して、データテーブルのカスタムボタンクリック時にオブジェクト B を主オブジェクトにした Visualforce ページ B に遷移する。

function openWinSample() {
    window.open('/apex/visualforcepageA?id={! Component20_item.record.Id}');
}
```

- ※ Italic 部分は利用するデザインデータに合わせます
- ※ Component20 部分はデータテーブルの ID を記載します

JavaScript 機能を利用する際にはいくつかの注意点があります。

- ・ カスタムボタンやカスタムリンク、入力項目から処理を呼び出す場合には必ず function から始まる 関数である必要があります。
- ・ function で開始しない処理は onLoad で呼び出されます。 画面表示時に処理を呼び出したい 場合は function を使用せずに記述してください。
- SkyVisualEditor VFでは jQuery を標準機能で利用しており、他のプラグインとの競合を防ぐための noConflict メソッドを使用しています。従って、jQuery を利用するスクリプトを記述する際に jQuery ライブラリの読み込みを行う必要はありませんが、書き出しは "\$"ではなく"jQuery"としてください。
- · JavaScript による機能拡張は標準サポートの対象外です。

Apex クラス拡張機能

標準機能で実現できない要件が発生した際、サーバーサイドの処理を行いたい場合に Apex クラス拡張機能の利用を検討します。作成した拡張 Apex クラスは Extender と呼ばれます。

Extender は Studio で直接記載する方法と Salesforce にデプロイ済みの Apex クラスを指定する方法があります。

適用範囲、設定手順、実装定義及びサンプルコードをヘルプサイトに詳しく記載していますので、実際に Apex クラス拡張機能を利用する場合はヘルプを参照してください。

また、Extender による機能拡張は標準サポートの対象外ですのでご注意ください。

ユースケース

標準機能、JavaScript機能、Apex クラス拡張機能の使い分けについては以下のユースケースを参考にしてください。また、複数画面で同じ処理を行う場合は AppComponent の開発も検討してください。

凡例: ◎=実装可能(最適) ○=実装可能 ×=実装不可

vi	1 T >44		
要件	標準機能	JavaScript	Apex クラス
		機能	拡張機能
画面表示時にデータテーブルへ新規行追加したい	0	×	0
Emily 77 77 William Co.	データテーブルの		
	[初期追加行数]		
	を指定		
遷移元画面からの URL パラメータを設定して初期	0	0	0
値を渡したい			_
データテーブルの表示データに条件を付けたい	<u>©</u>	×	
カスタムボタン/カスタムリンク押下時にマスク設定し	×	0	0
たい		(ページスクリプ	
		トエディタのサンプ	
		ルコード参照)	
計算結果の表示に使用している入力項目を読み取	×	<u>©</u>	×
り専用にしたい			
入力項目に色を付けたい	×	<u>©</u>	×
データテーブルのソートキーとして選択されている列の	×	<u></u>	×
ヘッダー背景色を変更したい			
検索条件に初期値を設定したい	×	0	<u>©</u>
データテーブルの行追加時にデフォルト値を設定した	X	×	<u>©</u>
()			
データテーブルの行コピー時にデフォルト値を設定した	×	×	<u>©</u>
L)			
データ更新時に排他制御したい	×	×	<u>©</u>
複数の項目で入力規則エラーが発生した際に独自	×	0	<u>©</u>
のエラーメッセージを表示したい			

14. SkyVisualEditor のバージョンアップの仕組み

SkyVisualEditor は年数回のバージョンアップを行っています。最新バージョンを利用する場合は AppExchange パッケージを更新します。

バージョンアップの必要性有無の判断方法やバージョンアップ手順は「SkyVisualEditor バージョンアップ 手順」を参照してください。

https://s3.amazonaws.com/www.skyvisualeditor.com/doc/skyvisualeditor_verup_manual.pdf#zoom=100

15. 大規模開発向け機能

大規模なアプリケーションを開発する場合、複数の開発者が複数の Salesforce 組織を取り扱う可能性があります。 SkyVisualEditor ではこのような開発環境下で活用できる機能を備えています。

複数組織への接続

Studioログインユーザーは接続するSalesforce組織を限定しません。StudioにログインしSalesforce組織に接続する際に任意のユーザーアカウントを使用するだけで、SkyVisualEditor VF がインストールされた組織に接続が可能です。また、接続後もツールメニューの [接続先変更] から異なる組織へ変更することができます。このことは、Studioに保存されたデザインデータを複数の組織で利用可能であることを表しています。例えば、モックアップ用 Developer Edition組織が 1 つ、Sandbox が 2 つの計 3 組織で開発を行っている場合、それぞれに対して同じ Studio から画面をデプロイすることが出来ます。異なる組織ごとに Studio ユーザーアカウントを取得する必要はありません。

デザインデータのバックアップ

Studio では 2 つの方法でデザインデータのバックアップを取得することができます。利用方法はヘルプを参照してください。

ローカル保存	デザインデータ(SVE ファイル)をローカル環境に保存する機能です。別の
	Studio でデザインデータを再利用する場合はこの機能を使用します。
	・ Studio で開いているデザインデータをローカルに保存する方法
	https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/cRFa
	・ 複数のデザインデータを一括でローカルに保存する方法
	https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/jRhZ
バージョン保存	デザインデータ内に複数のバージョンを保存する機能です。最大 50 件のバージョ
	ン保存と過去バージョンの読み込みが Studio 内で実行できます。
	https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/oQ9a

グループユーザー

グループユーザーは、Studio 内で複数ユーザーがデザインデータを共有し編集・デプロイできる機能です。 1 つの Studio に対し、最大 10 名のグループユーザーの登録が可能です。グループユーザーの登録や削除等の管理機能は通常のユーザー登録を行った管理ユーザーのみ行うことができます。

なお、本機能はグループユーザー間における複数バージョン管理を行うものではありません。前項で説明した「バージョン保存 |機能と組み合わせて管理してください。

ヘルプ「グループユーザー&高度な管理機能」

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/CIdX

旧環境(前バージョン)の利用

Studio 本番環境(最新バージョン)はバージョンアップの期日を迎えるとバージョンアップが必要です。バージョンアップ後にデザインデータの作成や編集を行う場合はパッケージも最新バージョンを利用する必要がありますが、旧環境を利用すれば引き続き前バージョンで作成や編集を行うことができます。

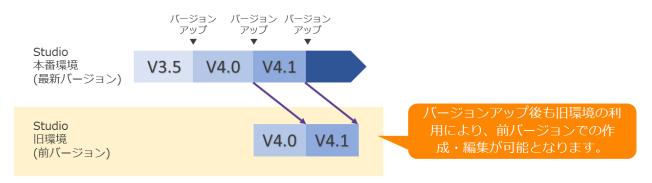


図 44:本番環境と旧環境の仕組み

旧環境を利用する運用例として、SkyVisualEditorのバージョンアップのタイミングを Salesforce バージョンアップのタイミングと合わせ、SkyVisualEditor と Salesforce の新バージョンテストを同時期に行うといったことが挙げられます。

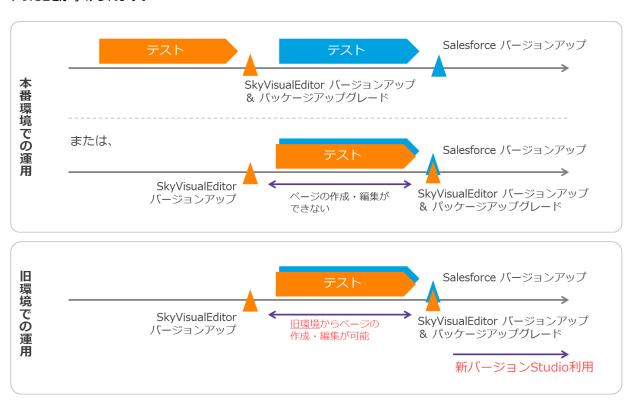


図 45:旧環境の運用例

なお、本番環境と旧環境は同じデータベースを参照し、同一ファイルを扱う仕様となっているため、利用にあたっては注意事項があります。

- · 本番環境で作成・編集したページは旧環境で表示することはできません。
- ・ 最新バージョンと前バージョンのページを一緒に利用することはできません。
- 旧環境の利用は専用の URL からログインして利用してください。
 https://www.skyvisualeditor.com/pg/login

ヘルプ「旧環境へのログイン」

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/JohX

16. Salesforce プラットフォームの理解

SkyVisualEditor VF で開発するにあたり、Salesforce プラットフォームの制限事項について特に意識することなく画面を開発することができますが、特定の条件下においてはエラーの発生を招く可能性があります。本章ではエラーを回避するために理解しておくべき事項を説明します。

Apex コードカバー率

Salesforce の本番環境に Apex をデプロイするためには、組織全体のコードカバー率が 75%以上を達成することが求められます。 SkyVisualEditor VF で自動生成する Apex クラスは 100%のカバー率を担保していますが、デプロイエラーになった場合は他にカバー率の低い Apex (トリガを含む個別開発) や拡張 Apex クラス (Extender) が組織内に存在しないか確認してください。



ガバナ制限

Apex はマルチテナント環境である Salesforce プラットフォーム上で実行されるため、共有リソースを独占させないための制限が設けられています。この制限に抵触するとエラーが発生するため、大量データを取り扱う場合や拡張 Apex クラス (Extender) を開発する際にはガバナ制限を考慮に入れて開発する必要があります。

エラー発生の例: カスタムルックアップ画面にて、[Too many query rows: 50001]が発生

ガバナ制限の詳細は Salesforce のドキュメントを参照してください。

https://developer.salesforce.com/docs/atlas.ja-

jp.salesforce_app_limits_cheatsheet.meta/salesforce_app_limits_cheatsheet/sales force_app_limits_platform_apexgov.htm

17. パフォーマンスチューニング

ガバナ制限の回避やパフォーマンス向上のために、SkyVisualEditor VF 画面を最適化する方法として、次のベストプラクティス案を検討します。

最適なブラウザの種類、バー ジョンを選択する	速度性能を良くするためには最新バージョンのブラウザを使用します。
ページに表示するデータ量を 制限する	配置項目、コンポーネント数の削減や画面に表示するデータ量の削減、画像の圧縮を行います。
利用する機能を選択する	画面表示速度に影響する機能の有効/無効化を選択します。
画面初期表示時に一部を非表示にする	初期表示時に一部を非表示にし、遅延読み込みを実行します。
View State の最適化	配置項目、コンポーネント数の削減や配置する項目型・検索結果 保持方式・テーブルの読み取り専用有効化の検討を行い、View State サイズを制限以下にします。
CSS の最適化	個別に設定した CSS のデータサイズを削減し、外部ファイル化します。
JavaScript の最適化	個別に設定した JavaScript のデータサイズを削減し、ライブラリ化します。
データベースのチューニング	カスタムインデックス、スキニーテーブルを適用します。

詳細は「SkyVisualEditor 開発ベストプラクティス- パフォーマンス編」を参照してください。
https://s3.amazonaws.com/www.skyvisualeditor.com/doc/skyvisualeditor_development_best_practices_performance.pdf#pagemode=bookmarks&zoom=100

18. トラブルが発生した際の対処方法

SkyVisualEditor を利用するにあたり、トラブルに遭遇した場合は原因の究明と解決が欠かせません。 ヘルプ及びナレッジに以下の「よくあるトラブル」の原因と解決方法を記載しています。こちらで解決しない 場合にはサポートへ問い合わせてください。

AppExchange のインストール:

- ・ インストールできない
- · Sandbox にインストールする際にエラーが発生する

Studio 関連:

- Studio が起動しない
- ページ保存時にシステムエラーが発生する
- · Studio から Salesforce に接続できない
 - <u>Salesforce に接続する際に "LOGIN_DURING_RESTRICTED_DOMAIN" エラーが</u> 発生する。
 - <u>Salesforce に接続する際に "LOGIN_MUST_USE_SECURITY_TOKEN" エラーが発</u> 生する。
- デプロイ時に警告が表示される
- デプロイ時にタイムアウトエラーが発生する
- デプロイに失敗する
 - デプロイに失敗する(75%以上のテストカバー率が必要と表示される)
 - デプロイに失敗する(テストエラーが表示される)
 - デプロイに失敗する (システムエラーが発生)
 - デプロイに失敗する("エンティティを解決できませんでした" とエラーが表示)
 - デプロイに失敗する(Chatter アンサーの有効化後)
 - デプロイに失敗する ("Variable does not exist: Account.SObjectType" が発生)

デプロイ後の画面利用

· "ビューステート(ViewState)の最大表示サイズの制限を超えています"というエラーが発生する

- "ライセンスが必要です" "アクセス権がありません" というエラーが表示される(ライセンス期限切れ)
- "ライセンスが必要です"というエラーが表示される(使用ユーザーのプロファイルにアクセス権限が付与されていない)
- ・ 検索条件項目の入力欄が表示されない。行動オブジェクトの入力欄が表示されない
- ・ データ参照時に"レコード保存時の入力エラー"が発生する
- ・ 商談商品テーブルを編集時、「販売価格」の項目を配置しないと販売価格が意図しない値になる
- ・ カスタムルックアップ画面の表示データに Salesforce 標準の「ルックアップ検索条件」が反映されていない。
- ・ 商談オブジェクトのレコード編集権限がなくても「商談商品」の編集ができる
- ・ 「個人取引先」を有効化するとエラーが発生する画面がある
- インライン編集が動作しない
- ・ カスタムルックアップ画面で "Too many query rows: 50001" が発生する
- ・ ブラウザ Safari で「手書き項目」が表示されない、または動作しない
- ・ 検索画面の検索条件登録時に "sf:API_CURRENTLY_DISABLED" エラーが発生する
- ・ 連動関係を設定変更した場合に標準ページレイアウトと選択リストの選択肢表示が異なる

19. Appendix

SkyVisualEditorの利用方法、活用方法を各種ドキュメントで公開しています。

・ヘルプ

https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/7gRa ヘルプサイトのトップ画面に、各種ドキュメント (PDF) へのリンクがあります。

- Salesforce1 対応ガイド
- SkyVisualEditor 開発ベストプラクティス・パフォーマンス編
- Visualforce ページインポート ユーザーマニュアル
- Sandbox から本番環境への移行手順
- SkyVisualEditorバージョアップ手順
- ブラウザのキャッシュを消去する方法について
- ・ ナレッジ https://doc-terrasky.atlassian.net/wiki/x/RARZ
- ・ ブログ https://base.terrasky.co.jp/tags/SkyVisualEditor
- コンテンツライブラリ (動画や過去ウェビナーコンテンツ等)https://www.terrasky.co.jp/document/sve-sup/

20. お問い合わせ先

本ワークブックに関するお問い合わせは以下までお願いいたします。

株式会社テラスカイ SkyVisualEditor 技術支援担当 support@terrasky.co.jp

以上